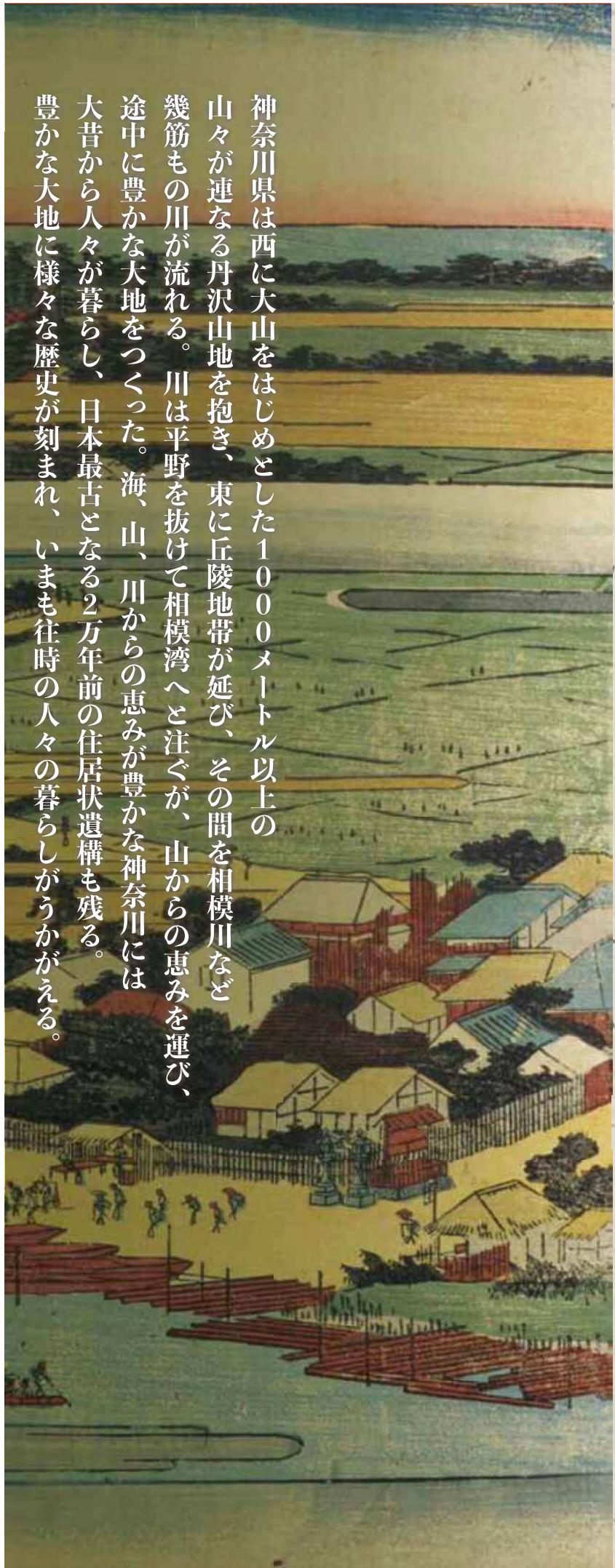


豊かな大地 恵みが育んだ 海・山・川の

第3章

神奈川県は西に大山をはじめとした1000メートル以上の山々が連なる丹沢山地を抱き、東に丘陵地帯が延び、その間を相模川など幾筋もの川が流れる。川は平野を抜けて相模湾へと注ぐが、山からの恵みを運び、途中に豊かな大地をつくった。海、山、川からの恵みが豊かな神奈川には大昔から人々が暮らし、日本最古となる2万年前の住居状遺構も残る。豊かな大地に様々な歴史が刻まれ、いまも往時の人々の暮らしがうかがえる。



先史時代の数々の貴重な遺跡 日本最古の2万年前の住居状遺構も発見

相模川を抱く 相模原市は 遺跡の宝庫



田名向原遺跡の住居状遺構は後期旧石器時代末(約2万年前)のもので、現在わが国最古の例とされる。12カ所の柱穴や2カ所の焚き火跡などが見つかっている。



相模川は全長約109kmの1級河川。県央部を流れ相模湾に注ぐ。相模原市内には相模川について学べる「相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら」もある。



史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館(旧石器ハテナ館)は全国的にも数少ない旧石器時代をテーマにした施設【住所】相模原市中央区田名塙3-23-11【電話】042-777-6371【開館】9:00～18:00(11～3月は17:00まで)



写真協力：相模原市／綾瀬市／横浜市／川崎市

SPECIALTY

名物



神奈川の地酒

丹沢山系を源とする豊かな水の恵みを受ける神奈川県では、13の蔵元が日本酒を製造する。相模川や酒匂川の伏流水を仕込み水とし、伝統の製法を守り続けている蔵元だ。趣のある入り母屋の酒蔵を有するところもあり、販売もしているので訪ねてみるとよいだろう。「かながわの名産100選」の一つに選ばれている。



相模川の鮎

相模川はアユ釣りの名所として名高い。6月1日の解禁日を心待ちにしているファンは多く、上・中・下流と三つの地域にわってアユとの出会いが楽しめ、10月14日までの漁期は各地で大公望たちの笑顔が溢れる。川沿い周辺には川魚料理店もあるので釣り人でなくても満足できる。「かながわの名産100選」の一つ。

S P O T



国指定史跡 神崎遺跡

相模川下流左岸、綾瀬市南西部にある神崎遺跡は弥生時代後期(約1800年前)の漆器集落。南北103m、東西65mの楕円形に深い溝が巡らされ、東海地方からの集団移住を示す発掘もあり国指定史跡に。資料館も建つ【住所】綾瀬市吉岡3425-5【電話】0467-77-0841(オーケヨイ)【開館】9:00～17:00、月曜休館、無料



勝坂遺跡公園内に復元された土葺き竪穴住居。公園内管理棟にも展示コーナーがある。入園自由、竪穴住居内の見学は水～日曜の9:00～16:00

周辺に豊かな緑や奥がある史跡勝坂遺跡公園では縄文時代中期の大集落の姿が再現され、大自然の中の織文時代を体感できる。土葺き竪穴住居2棟が復元されている。

期旧石器時代の住居状遺構で、日本で発見された中ではもっとも古い約2万年前のものだ。

約40万年前から相模川は相模原に流れ込み、何万年もかけて相模原台地などの河岸段丘を形成した。田名向原遺跡が位置する段丘もその一つで、川に臨む場所に遺跡があり、人々は遡上するサケやアユなども捕食しながら暮らしていたと思われる。

9個の黒曜石製の石器が発掘されたことも大きな特徴だ。

黒曜石は鋭く加工できナイフの代わりとなる。関東各地で出土するが、田名向原遺跡のものは長野県の星ヶ塔産であった。遠く離れた土地との交易がうかがわれるが、どのようにして運ばれたかは未だ謎が多く、そ

旧石器時代の遺構と 縄文の代表的遺跡

相模川に臨む相模原市は先史時代の遺跡の宝庫である。

旧石器時代、約3万5000年前には人が住んでいたと思われ、関東ローム層の赤土からいくつもの石器

や土器などが見つかっている。いまも恵みをもたらす相模川や境川、鳩川周辺での発見が多く、古代から綿綿と続く川と人々の暮らしが偲ばれる。

相模原市を代表する遺構の一つが相模原市左岸、相模原市中央区田名塙田にある田名向原遺跡である。後

の予想と研究成果が遺跡公園に隣接する学習施設「旧石器ハテナ館」でわかりやすく解説されている。

相模原市南区磯部にある勝坂遺跡も貴重な遺跡である。約5000年前の縄文時代中期の大集落跡だ。

大正時代に発掘された縄文土器は立体的な装飾文様や顔面把手で注目され、「勝坂式土器」として縄文中期の目安になっている。同時に発掘された打製石斧によって、この時代に農耕があったことを提唱され、当時の考古学界に議論を呼んだ。

起伏に富んだ丘の上にあり、樹林に囲まれた遺跡は国の指定史跡として公開されている。縄文時代集落の雰囲気を肌で感じることができる場所である。

相模田名民家資料館

田名向原遺跡に近い木造民家の資料館。かつて盛んだった生糸生産の様子を保存された養蚕農家がらも学べる。飼育器具や生活用品などを展示され、製糸業を支えた現場を知ることができます【住所】相模原市中央区田名4856-2【電話】042-761-7118【開館】10:00～16:00、月～水曜休館、無料(臨時休館もあり)



大塚・歳勝土遺跡公園に隣接する展示内容も充実した横浜市歴史博物館【住所】横浜市都筑区中川中央1-18-1【電話】045-912-7777【開館】9:00～17:00、月曜休館【料金】一般400円



神奈川の考古学の殿堂、埋蔵文化財センター。講座も随時開催【住所】横浜市南区中村町3-191-1【電話】045-252-8661【開館】9:00～17:00、土日祝休館（第2土曜開館）（写真提供：神奈川県埋蔵文化財センター）

三殿台遺跡には三殿台考古館が建ち、展示のほかに火おこしや、勾玉、土偶、土器づくりなどの教室も随時開催している。



大塚・歳勝土遺跡は、弥生時代の環濠集落と、近接した方形周溝墓群（墓地）が同時に見学できる貴重な遺跡。



標高約55mの小高い丘の上にある三殿台遺跡。縄文から弥生・古墳時代のムラの跡に住居跡が復元され臨場感を醸している。

港北ニュータウンの真ん中、市営地下鉄センター北駅近くの遺跡群で、弥生時代中期の環濠集落・大塚遺跡と、方形周溝墓群の歳勝土遺跡が見学できる。ここでは竪穴住居や堀立柱建物が復元されている。

隣接する横浜市歴史博物館では遺跡の詳細のほか、先史時代から近現代に至るまでの横浜の歴史を学ぶことができる。

横浜市街にある 縄文・弥生・古墳 時代の遺跡群

弥生時代のムラの様子を知る遺跡

横浜市にも先史時代の遺跡が残る。

磯子区には縄文時代から古墳時代に及ぶ大規模な集落遺跡・三殿台遺跡が伝わる。

明治時代、小高い丘の上に貝塚が発見されたことから調査が進み、縄文・弥生・古墳時代にわたる270もの竪穴式住居跡が発見された。

特に弥生時代の住居は170軒近くと、当時のムラの様子を知る上で最も貴重な遺跡。資料館の考古館では遺跡に関する資料展示や様々なイベントも随時行われている。

弥生時代のムラでは大塚・歳勝土遺跡公園も見逃せない。

港北ニュータウンの真ん中、市営地下鉄センター北駅近くの遺跡群で、

弥生時代中期の環濠集落・大塚遺跡と、方形周溝墓群の歳勝土遺跡が見学できる。ここでは竪穴住居や堀立柱建物が復元されている。



津久井湖は昭和40（1965）年のダム建設で、相模川が堰き止められてできた湖。水力発電や水がめとして相模川の恵みを県内にもたらしている。

SPECIALTY

SPOT

名物

立ち寄り所

津久井のうどん

津久井の地粉や県産小麦など、主に地元の原材料を使い伝統製法でつくられたうどんは、地域の名産品として知られ、「かながわの名産100選」にも選ばれている。津久井のおいしい水の恵みも味わいに加わり、独特の風味に強いコシがある。遠方から食べに訪れるファンも多い。

小原宿本陣跡

江戸時代、参勤交代の大名などが宿泊した本陣は神奈川県下に26軒あったが、現在残るのは甲州街道小原宿の本陣のみ。定紋の付いた敷居の高い玄関をくぐると、築200年以上という純日本風の豪壮な本陣内部を見ることができる【住所】相模原市緑区小原698-1【開館】9:30～16:00、月曜・年末年始休館、無料



国指定の寸沢嵐石器時代遺跡。縄文後期と推定される住居跡だ。津久井湖と相模湖の間に位置する。



川尻石器時代遺跡は津久井湖の下流、相模川流域の河岸段丘にあり、敷石住居の構造などが見られる。

田名向原遺跡や勝坂遺跡から、相模川沿いを上っていくと津久井湖へと辿り着く。その周辺にも先史時代の遺跡がいくつか存在する。

津久井湖上流、相模原市緑区の史跡寸沢嵐石器時代遺跡は昭和3（1928）年に発見された柄鏡形敷石住居跡である。

東西約5・1メートル、南北約4・5メートルの橢円形の床に河原石が敷かれ、間に小石が詰められ固められている。中心部に六角形の石囲いが設けられ、火を焚いた跡もあつた。縄文時代中期末葉（約4500年前）の遺構とされ、津久井湖西側の道路脇に六角形の小屋が建てられ保存されている。

津久井湖下流には、縄文時代中期から晩期の集落跡である川尻石器時代遺跡がある。敷石住居や配石遺構、配石墓群などの礫石を用いた遺構が多く発見され、国指定の史跡になっている。

このように都心にも近い相模原市に、状態のいい先史時代の遺跡がいくつも残っているということは神奈川の誇りでもある。



大塚・歳勝土遺跡公園に隣接する展示内容も充実した横浜市歴史博物館【住所】横浜市都筑区中川中央1-18-1【電話】045-912-7777【開館】9:00～17:00、月曜休館【料金】一般400円



神奈川の考古学の殿堂、埋蔵文化財センター。講座も随時開催【住所】横浜市南区中村町3-191-1【電話】045-252-8661【開館】9:00～17:00、土日祝休館（第2土曜開館）（写真提供：神奈川県埋蔵文化財センター）

三殿台遺跡には三殿台考古館が建ち、展示のほかに火おこしや、勾玉、土偶、土器づくりなどの教室も随時開催している。



大塚・歳勝土遺跡は、弥生時代の環濠集落と、近接した方形周溝墓群（墓地）が同時に見学できる貴重な遺跡。



標高約55mの小高い丘の上にある三殿台遺跡。縄文から弥生・古墳時代のムラの跡に住居跡が復元され臨場感を醸している。

横浜市にも先史時代の遺跡が残る。

磯子区には縄文時代から古墳時代に及ぶ大規模な集落遺跡・三殿台遺跡が伝わる。

明治時代、小高い丘の上に貝塚が発見されたことから調査が進み、縄文・弥生・古墳時代にわたる270もの竪穴式住居跡が発見された。

特に弥生時代の住居は170軒近くと、当時のムラの様子を知る上で最も貴重な遺跡。資料館の考古館では

遺跡に関する資料展示や様々なイベントも随時行われている。

弥生時代のムラでは大塚・歳勝土遺跡公園も見逃せない。

港北ニュータウンの真ん中、市営地下鉄センター北駅近くの遺跡群で、

弥生時代中期の環濠集落・大塚遺跡と、方形周溝墓群の歳勝土遺跡が見学できる。ここでは竪穴住居や堀立柱建物が復元されている。



大塚・歳勝土遺跡公園に隣接する展示内容も充実した横浜市歴史博物館【住所】横浜市都筑区中川中央1-18-1【電話】045-912-7777【開館】9:00～17:00、月曜休館【料金】一般400円



神奈川の考古学の殿堂、埋蔵文化財センター。講座も随時開催【住所】横浜市南区中村町3-191-1【電話】045-252-8661【開館】9:00～17:00、土日祝休館（第2土曜開館）（写真提供：神奈川県埋蔵文化財センター）

三殿台遺跡には三殿台考古館が建ち、展示のほかに火おこしや、勾玉、土偶、土器づくりなどの教室も随時開催している。



大塚・歳勝土遺跡は、弥生時代の環濠集落と、近接した方形周溝墓群（墓地）が同時に見学できる貴重な遺跡。



標高約55mの小高い丘の上にある三殿台遺跡。縄文から弥生・古墳時代のムラの跡に住居跡が復元され臨場感を醸している。

横浜市にも先史時代の遺跡が残る。

磯子区には縄文時代から古墳時代に及ぶ大規模な集落遺跡・三殿台遺跡が伝わる。

明治時代、小高い丘の上に貝塚が発見されたことから調査が進み、縄文・弥生・古墳時代にわたる270もの竪穴式住居跡が発見された。

特に弥生時代の住居は170軒近くと、当時のムラの様子を知る上で最も貴重な遺跡。資料館の考古館では

遺跡に関する資料展示や様々なイベントも随時行われている。

弥生時代のムラでは大塚・歳勝土遺跡公園も見逃せない。

港北ニュータウンの真ん中、市営地下鉄センター北駅近くの遺跡群で、

弥生時代中期の環濠集落・大塚遺跡と、方形周溝墓群の歳勝土遺跡が見学できる。ここでは竪穴住居や堀立柱建物が復元されている。



大塚・歳勝土遺跡公園に隣接する展示内容も充実した横浜市歴史博物館【住所】横浜市都筑区中川中央1-18-1【電話】045-912-7777【開館】9:00～17:00、月曜休館【料金】一般400円



神奈川の考古学の殿堂、埋蔵文化財センター。講座も随時開催【住所】横浜市南区中村町3-191-1【電話】045-252-8661【開館】9:00～17:00、土日祝休館（第2土曜開館）（写真提供：神奈川県埋蔵文化財センター）

三殿台遺跡には三殿台考古館が建ち、展示のほかに火おこしや、勾玉、土偶、土器づくりなどの教室も随時開催している。



大塚・歳勝土遺跡は、弥生時代の環濠集落と、近接した方形周溝墓群（墓地）が同時に見学できる貴重な遺跡。



標高約55mの小高い丘の上にある三殿台遺跡。縄文から弥生・古墳時代のムラの跡に住居跡が復元され臨場感を醸している。

横浜市にも先史時代の遺跡が残る。

磯子区には縄文時代から古墳時代に及ぶ大規模な集落遺跡・三殿台遺跡が伝わる。

明治時代、小高い丘の上に貝塚が発見されたことから調査が進み、縄文・弥生・古墳時代にわたる270もの竪穴式住居跡が発見された。

特に弥生時代の住居は170軒近くと、当時のムラの様子を知る上で最も貴重な遺跡。資料館の考古館では

遺跡に関する資料展示や様々なイベントも随時行われている。

弥生時代のムラでは大塚・歳勝土遺跡公園も見逃せない。

港北ニュータウンの真ん中、市営地下鉄センター北駅近くの遺跡群で、

弥生時代中期の環濠集落・大塚遺跡と、方形周溝墓群の歳勝土遺跡が見学できる。ここでは竪穴住居や堀立柱建物が復元されている。

その他おすすめ スポット&情報

半原のぬい糸・ネクタイ

愛川町半原は江戸時代から織維業が盛んなところ。綿や合戦織のぬい糸、伝統技法を活かした被織物ネクタイが「かながわの名産100選」に選ばれている。愛川織維会館レインボープラザでは手織りや染め、組紐体験もできる。

相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら

相模川に関する生物の展示に留まらず、地域の湧水や小川、水田など、川と人のつながりが学べる施設【住所】相模原市中央区水郷田名1-5-1【電話】042-762-2110【開館】9:30~16:30、月曜ほか休館【入館料】一般390円 <http://sagamigawa-fureal.com/>

JAXA 相模原キャンパス

日本の宇宙科学研究の拠点。人工衛星や解説パネルなどを自由に見学できる【住所】相模原市中央区由野台3-1-1【電話】042-751-3911【開館】9:45~17:30、土日も見学可、無料（売店は平日のみ）<http://www.jaxa.jp/about/centers/sagamihara/>

先史時代の 数々の貴重な遺跡

おすすめコース

- 徒歩 —バス
- JR原当駅 → 田名向原遺跡バス停(田名バスターミナル行き) — 田名向原遺跡公園 — 旧石器ハテナ館 — 田名向原遺跡バス停 — 半在家バス停 — 相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら — ふれあい科学館前バス停 — JR相模原駅

多摩丘陵の標高25mほどの台地上にある子母口貝塚。貝類はマガキが約半分を占める。当時、付近は河口の内湾的な状況であったと考えられている。

子母口貝塚の出土品。土器は胎土に纖維を含み底部が底尖。表面は無文土器が多く、文様があるものは口辺部にある。

川崎市の 住宅街に伝わる 縄文時代の貝塚

川崎市高津区にある橋本遺跡群は、古代武藏国に置かれた役所の跡。7~10世紀の地方行政を知る上で貴重な遺跡といえることもあり、国指定の史跡となつた。

川崎市市民ミュージアムは博物館と美術館の複合文化施設。子母口貝塚や馬絹古墳に関する展示も。博物館展示室は無料【住所】川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)【電話】044-754-4500【開館】9:30~17:00、月曜休館

矢上川沿いの高台にある馬絹古墳。玄室、前室、前々室からなる規模の大きい横穴式石室を有する。7世紀後半、この地域を治めた有力豪族の墓と考えられている。県指定の史跡。

川崎の子母口貝塚

多摩丘陵でもっとも古い貝塚の子母口貝塚は、川崎市高津区の住宅街にある。縄文時代早期後半(約700年前)のもので、「子母口式土器」の遺跡としても有名。子母口式土器は粘土に草を混ぜ、表面に貝殻で引いた線や竹などを巻いた紐を押し付けた文様などが特徴。貝塚からは浅瀬に生息する貝殻も出土している。この周辺が入江だったことがわかる。現在は児童公園内に碑が残るのみだが、川崎市市民ミュージアム

でその歴史や実像を知ることができます。馬絹古墳も宮前区の住宅地内に位置している。直径約33メートルの円墳で高さは4.5メートルほど。複数の石室は非常に大規模で、現地案内板で詳細が解説されている。時代は下って、7、8世紀の地方官の美態を伝えるのが、高津区の橋本遺跡群は川崎市で初めて国指定史跡にもなった。現在はまだ樹郡の役所と隣接する郡寺跡から構成される遺跡群は川崎市で初めて国指定史跡にもなった。現在はまだ見学できるような状態ではないが、整備が検討されている。

071 | かながわ歴旅

070

古代相模国の国府と国分寺 相模川沿いに点在する遺構の数々



法隆寺と同じ伽藍配置の相模國分寺。七重塔は高さ60mを超えたという。法隆寺の五重塔が30mほどと考へると、相模国には相当な技術力を持った集団がいたと考えられる(CG成瀬京司)



S P O T



千代廃院跡(千代廃寺)は、奈良・平安時代の寺院跡。法隆寺式の伽藍配置を持ち、地方行政の中心を担う重要な施設であったとされる。

相模でも最古級の有鹿神社は相模川に臨む位置に鎮座する海老名の総鎮守。「神奈川のへそ 子育て危除け大社」や縄文時代からのご神体「有鹿の泉」も。

立ち寄り所



秋葉山古墳群

海老名市北東に連なる秋葉山古墳群では前方後円墳や前方後方墳、方墳などが計6基確認されている。約1700年前、弥生時代から古墳時代につくられたとされ、当時の南関東の様子を知る貴重な遺跡として平成17(2005)年に国史跡に指定された。緑豊かな一帯は自然と歴史を同時に楽しめる良好な散歩道。



瓢箪塚古墳

瓢箪塚古墳は秋葉山古墳群よりも後の時代につくられたとみられる、全長約70mの前方後円墳。古墳の頂部に登れば周囲が見渡せ、眺めのよさを満喫できる。市街地の先に大山を中心とする山並みも望める。海老名駅から徒歩で10分の距離で、国分寺跡とともに立ち寄ることも可能。

の各国に置かれ、国の安寧と人々の幸福が願われた。
相模國分寺は西に大山・丹沢山系を望む相模川沿いの台地、いまの海老名市国分南に建てられた。
3万平方メートルに及ぶ広大な敷地に、金堂と高さ60メートルを超える七重塔が東西に配され、周囲を南の中門や講堂、鐘楼が囲む法隆寺式の伽藍配置であった。奈良時代の建立ながら飛鳥時代の様式というは珍しく、全国でも数例しかない。
国分尼寺跡は国分寺跡の北側、約500メートルのところにあり、こちらは中門、金堂、講堂が南北に並ぶ配置だった。いまは金堂の礎石と位置を示す案内板や石碑が立つてある。

国分寺のあった場所は、相模國分寺跡の歴史公園として整備、公開さ

れている。高さ1メートルほどの塔の基壇が往時の壮大さを偲ばせる。隣接する市立の郷土資料館「海老名市温故館」には、伽藍の復元模型が展示されている。なお、現在の国分寺は、国分寺跡から南へすぐのところに建っている。
ところで、国分寺のある場所に国府が置かれるのが一般的だが、海老名では確認されておらず、平塚にあったことがわかっている。また、小田原の国府津近くにも法隆寺と同じ伽藍配置の寺院があつた。大磯にも国府の地名が残る。
なお、海老名市には、複数の前方後円墳が連なる国史跡の秋葉山古墳群や中世の武士居館跡の浜田歴史公園、由緒ある有鹿神社などもあり、時代をまたいだ歴史散歩が楽しめる。



史跡相模國分寺跡は海老名駅の東側700mほどのところにあり、歴史公園として整備・公開されている。一部、伽藍の基壇や平面形が復元され、当時の様子が体感できる。



海老名市温故館では国分寺の模型や郷土の歴史資料も【住所】海老名市国分南1-6-36【電話】046-233-4028【開館】9:00-17:15、年末年始休館、無料。



相模國分尼寺跡は国分寺跡の北約500mのところ、小田急線沿いにある。住宅地の中にあるが、現在は往時を偲ばせるよう保存にも努めている。



写真協力：海老名市／平塚市／小田原市／茅ヶ崎市／寒川町／大磯町／二宮町
海老名駅東口には、平成4(1992)年に市のシンボルとして七重塔が建てられた。実際の1/3のサイズだが大きく感じる。



海老名に伝わる 国分寺跡と 国分尼寺跡

よび国分尼寺の建立を命じる。

関東では、武藏(東京都)、安房(千葉県)、上総(千葉県)、下総(千葉県)、常陸(茨城県)、下野(栃木県)、上野(群馬県)、相模(神奈川県)



現在の国分寺参道入口にある「海老名の大ケヤキ」。樹齢は推定約570年で、かつてこの辺りが入り江で漁師が船の係留用に使っていたという伝承も。



大磯の祭り 神様が集まる



前鳥神社（平塚市）は相模國四之宮。修学・学問の神である菟道稚郎子命を祀っていることから多くの学生や受験生が顔掛けに訪れる。



相模國總社六所神社（大磯町）は國府のお膝元として總社の格を有し、國府祭の一連の神事はこの神領地で行われる。後に源賴朝、北条氏、徳川家康と有力武士の無い信仰を集めめた。櫛稻田姫命を祀る。

神社と神社が覇を競う歴史ドラマの「座問答」

寒川神社は相模國一之宮で寒川比古命と寒川比女命の二柱を祀る。関八州の裏鬼門に位置し八方除の守護神として信仰されている最近では八方除にちなみ八角形をした八福餅が人気（写真提供：寒川神社）



川勾神社は二宮大明神とも称し、大和朝廷時代に垂仁天皇の勅命により創建されたという。天皇や鎌倉源氏一門から厚く崇敬された（写真提供：川勾神社）



神奈川のいちご

相模エリアでは「神奈川のいちご」が「かながわの名産100選」として県から選定されている。イチゴは海老名、厚木、秦野、横須賀、平塚、小田原などで栽培され、12～5月に出荷される。特に、海老名はイチゴの共販出荷量が県内のところでの、地元産イチゴをふんだんに使った「いちごわいん」や「いちごぱん」もつくっている。

かって之宮の座を巡つて相武一之宮の寒川神社と磯長一之宮の川勾神社が争っていた。それを見かねた比々多神社が仲裁に入るという内容で、虎の皮を競つて繰り出す応酬を「いざれ明年まで」と曖昧な言葉で決着する。嚴かな神事ながら不思議と人間くさいところが興味深い。

その他おすすめスポット&情報

相州達磨

明治時代に八王子から伝わった多摩だるまが平塚で独自の発展を遂げたのが相州達磨。顔が白く金箔や細かい描きを施すのが特徴で、全国的に珍しい毛が付いた達磨も。「かながわの名産100選」の一つ。



茅ヶ崎市文化資料館

湘南の海に近い閑静な住宅街に建つ資料館。茅ヶ崎の考古や民俗、自然を紹介する。新資料館をつくる計画も【住所】茅ヶ崎市中海岸 2-2-18 【電話】0467-85-1733 【開館】9:00-16:00、月曜・年末年始休館、無料



四之宮の渡し

江戸時代、幕府が相模川への架橋を禁じたため四之宮（平塚市）の農民は耕地を行き来するため渡し船を利用した。家康も中原御殿との往復に使い、伊勢参りなどの東海道の旅人も迂回路として使ったという。相模川河畔に説明板が立っている。



古代相模国の国府と国分寺 おすすめコース

徒歩

小田急・海老名駅～七重塔～瓢箪塚古墳～海老名の大ケヤキ～相模国分寺～海老名市温故館～相模国分寺跡～相模国分尼寺跡～小田急・海老名駅

神奈川県には、国指定が6件、国選択が2件、県指定が30件、県選択が3件の無形民俗文化財がある。山北町の「山北のお峯入り」や真鶴町の「貴船神社の船祭り」など、山と海に恵まれた神奈川ならではのバリエーションを誇り人形淨瑠璃の「相模人形芝居（前鳥座・足柄座）」や「横須賀の虎踊」など人形を使ふもの。県のホームページにはすべての無形民俗文化財を紹介するマップが掲載されているので是非チェックしてもらいたい。史跡旧跡巡りに祭事を加えれば、歴旅散歩もさらに格別の趣となるだろう。

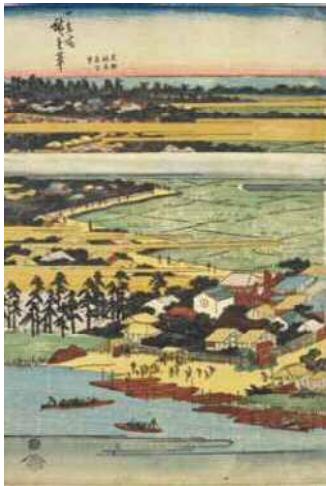


江戸中期から続く愛川町の「三倍の獅子舞」（県の無形民俗文化財）。7月の八坂神社祭礼で演舞される（写真協力：愛川町）



多摩川下流右岸に形成された穀倉地帯

家康の命でつくられた二ヶ領用水



市民憩いの場となつた 県下最古の灌漑用水路

神奈川県と東京都の境を流れる多摩川から取水し、川崎市内を流れる多水路が二ヶ領用水だ。県下最古、國內でも有数の歴史を誇る灌漑用水で、土日ともなると用水路に沿った道は、

ジョギングする人や散策する人たちで賑わう。
天下分け目の関ヶ原の戦いの3年前、徳川家康の命を受けた用水奉行・小泉次大夫が、慶長4(1599)年から工事に着手し、流域農民の協力も得ながら同16(1611)年に完成させた。



洪水で荒れた地を 穀倉地帯に変えた 二ヶ領用水

二ヶ領用水の上流域は自然環境や景観に配慮した親水地として整備されている。桜などの木が植えられ、散策にいいコースになっている。昔ながらの草履が残る場所もある。

家康の江戸入府に際し関東平野の開発は急務だった。多摩川はたびたび氾濫する暴れ川で、水の確保が難しく、流域は荒れていたため、幕府は治水対策の重点地に位置付ける。二ヶ領の名は、稻毛領と川崎領にまたがり開削されたことに由来する。測量から14年の歳月をかけて完成した用水は全長が約32キロ。網目的ように戸路が張り巡らされ、流域の米の生産量は飛躍的に伸びる。3代将軍家光が鷹狩りで当地を訪れた際に食して感激したといふ伝承もある。江戸時代のブランド米「稻毛米」も

測量から14年の歳月をかけて完成した用水は全長が約32キロ。網目のように戸路が張り巡らされ、流域の米の生産量は飛躍的に伸びる。3代将軍家光が鷹狩りで当地を訪れた際に食して感激したといふ伝承もある。江戸時代のブランド米「稻毛米」も

9(1724)年、老朽化が目立つたため、御普請役人の田中休愚が改修を行う。その結果、60カ村、2000ヘクタールの水田が潤い、辺りは大穀倉地帯となり人口も増える。しかし、干ばつ時における水争いも絶えなかつたという。

なかでも文政4(1821)年の「溝口水騒動」は最大規模のものだった。上流の稻毛領溝口村と久地村の農民が水を堰き止め、自分たちの村に水を引いたことによって川崎領は水不足となり、怒った農民1万数千人が蜂起した。多くの人が罰せられたものの、その後もしばしば水騒動は起つたと記録されている。



多摩川の2カ所から取水された用水は久地で合流し、下流の「久地円筒分水」で四つの堀に分水される。用水を平瀬川の下をくぐらせ、再び噴出させた水を、放水部円筒を4地区の灌漑面積の比率で正確に4分割して流す。昭和16(1941)年に県の技師・平賀栄治が設計したもので、国の登録有形文化財。



S P O T

立ち寄り所
大山街道ふるさと館

二ヶ領用水と大山街道が交差する大石橋近くに建つ資料館。大山街道に関するものや郷土ゆかりの人々の美術作品などを展示している。二ヶ領用水についての展示も充実。入場無料【住所】川崎市高津区溝口3-13-3【電話】044-913-4705【開館】10:00～17:00【休館】年末年始 http://furusotokan.web5.jp/



S P E C I A L T Y

名物
神奈川の農業

水にも恵まれ、大消費地に近い神奈川は農業県でもある。全国のベスト10内の作物は、野菜ではキャベツが5位、ダイコンが6位、小松菜が7位、ホウレンソウとカブチャが8位。豆類は落花生が3位で、果物はキュウイフルーツが4位、みかんが9位。花卉はパンジーが2位でバラが6位。(平成27年農林水産統計年報より)

農業から工業 変貌した用水路

昔の人々の暮らし
うかがい知れる施設

明治時代になると二ヶ領用水は、
米や野菜だけでなく果物栽培にも利
用される。大正初期には辺りにナシ
畑が広がっていたという。ナシの品
種である長十郎は当地が発祥だ。

また、多摩川下流沿岸部が埋め立
てられ京浜工業地帯ができるが、
二ヶ領用水の潤沢な水は工業用水に
も使われた。

二ヶ領用水はその400有余年の
歴史で、農業と工業の発展に寄与し
た貴重な水路だ。明治時代には水が
不足する横浜の飲料水として供給さ
れたこともあるが、現在は市民が水
や自然に親しむ憩いの場を提供して
いる。

用水周辺にも自然が残り、都会の
里山のような生田緑地も隣接する。

緑豊かな広大な丘陵地帯には様々な
施設が建つが、「川崎市立日本民家
園」では江戸時代の古民家を中心には
水車小屋や農村歌舞伎舞台など、文
化財建造物が移築展示されている。

国や県の重要文化財を含む25の建
物の中には、二ヶ領用水流域に建つ
いた古民家もあり、当時の人々の
暮らしを偲ぶことができる。



岡本太郎美術館

生田緑地には「川崎市岡本太郎美術館」も、芸術家の岡本太郎は川崎市
高津区生まれ。絵画や彫刻などの常設だけでなく随時企画展も【住所】
川崎市多摩区舟形7-1-5【電話】044-900-9898【開館】9:30～17:00
（入館は16:30まで）、月曜休館ほか【入館料】一般500円（企画展が開催されていないとき）<http://www.taromuseum.jp/>



日本民家園には神奈川の八つの建造物以外に富山県や福島県などの古民家も【住所】川崎市多摩区舟形7-1-1【電話】044-922-2181【開館】9:30～17:00（11～2月は16:30まで）、月曜休館ほか【入館料】一般500円<http://www.nihonminkaen.jp/>



日本民家園と伝統工芸館

日本民家園ではいろいろな体験も。
機織りや糸紡ぎの実演見学、火おこ
しや草鞋づくり体験、地方の民話を
聞く会など、年齢に適した様々なイベ
ントが開催。敷地内の川崎市伝統工
芸館では藍染体験もでき、ハンカ
チやバンダナなどを染めることができます。
（有料、事前申し込み）【電話】
044-900-1101（川崎市伝統工芸館）



二ヶ領用水に臨む生田緑地は市内最大の緑の宝庫。多摩丘陵の角で、もっとも高いところが標高84m。ホタルも舞う自然環境が維持されたままに都会のオアシス。

その他おすすめ スポット&情報

川崎大師の久寿餅

「かながわの名産100選」にも選ばれてい
る川崎大師の定番土産の久寿餅。川崎周辺
は麦の産地であったことから、葛以上の味
わいを持つ小麦粉「くず餅」をつくり舌
の肥えた江戸っ子たちを満足させた。仲見
世通りと表参道の各店で販売されている。



かわさき宙と緑の科学館

自然、天文、科学の三つの体験ができる生
田緑地内の博物館。プラネタリウムでは世界
最高水準のリアルな星空が広がる【開館】
9:30～17:00、月曜休館ほか【入館料】無
料（プラネタリウムは一般400円）<http://www.nature-kawasaki.jp/>



二ヶ領せせらぎ館

多摩川のことがまるごとわかる資料館。ミ
ニ水族館も【住所】川崎市多摩区宿河原
1-5-1【電話】044-900-8386【開館】10:00
～16:00（季節変動あり）、月曜休館ほか【入
館料】無料<http://www.seseragikan.com/>
（写真提供：二ヶ領せせらぎ館）



相次ぐ水害を機に行われた 酒匂川や相模川の治水事業

ミニコラム

治水対策が行われたのは多摩川だけでは
ない。大久保忠・忠隣親王によって行われ
た酒匂川の治水工事によって、合戦で荒
れた足柄平野は大水田地帯へと変わった。

慶長14（1609）年につくられた酒匂

川の外形は約100年間維持された。宝永

4（1707）年の富士山の噴火や正徳元

（1711）年の大洪水などの灾害を経て

一層強固なものとなつた。

関東大震災後は県内各地で治山工事を行
われ、総合的な水害対策がとられている。

上流に相模湖と津久井湖の二つのダム湖を

有する相模川は昭和22（1947）年の台

風被害を契機に改修が実施された。



散歴歩



多摩川下流右岸に 形成された穀倉地帯 おすすめコース

JR武藏溝ノ口駅、東急・溝の口駅～大石橋～大山街道ふるさと館～久地円筒分水～
JR武藏溝ノ口駅～JR宿河原駅～二ヶ領用水取水口付近の小路～二ヶ領せせらぎ館～JR、小田急・登戸駅

～徒歩 ～電車

300万人が初詣に訪れる
「厄除けのお大師さま」

川崎大師

かわさきだいし　こんじゅうさん　きんじょういん　へいけんじ



参拝客を迎える参道には多くの土産物屋が。久寿餅やせき止め飴を売る店などが客を呼び込む。

読経の声が大きくなるにつれて、護摩ごまを焚く炎が大きくなる。「厄除け大師」として知られる川崎大師の護摩祈禱は、

立った高僧に導かれ、海から弘法大師像を引きあげる。この像を本尊とし、大治3年(1848)年に寺社を建立。日に5~6回行われている。正式には金剛山金乗院平間寺である。真言宗智山派の寺院で、平安時代、元は武士であつた平間兼乗が創建した。無実の罪により諸国を流浪後、川崎に住み着き漁師をしていた兼乗は弘法大師を崇信していた。日夜、厄除けの祈願をしていたところ、夢枕に

立つた高僧に導かれ、海から弘法大師像を引きあげる。この像を本尊とし、大治3年(1848)年に寺社を建立。日に5~6回行われている。正式には金剛山金乗院平

間寺である。真言宗智山派の寺院で、平安時代、元は武士であつた平間兼乗が創建した。無実の罪により諸国を流浪後、川崎に住み着き漁師をし

よくなり、慣習化していく。その始まりが川崎大師への正月参詣といわれている。

京浜急行電鉄の前身は大師電気鉄道である。明治32年(1899)年に川崎六郷橋から参詣客を運ぶため、川崎大師間での営業を始めた。そこから現在の京浜急行へと発展していく。

初詣には毎年多数の人が参詣する人気のお寺。その数はランキングにも登場するほどである。



本尊の厄除弘法大師を安置する、大本堂は昭和39(1964)年に再建された。その他、境内には珍しい八角の五重塔も。



美しい自然と 景観を誇る 風光明媚な地

第4章

神奈川の海、山、川が織りなす自然の造形美に人々は古より魅了された。江戸時代には浮世絵の題材となり、北斎や広重など風景画の巨匠たちがこぞって各地の景色を写し描いた。それらの絵がさらに人々を魅了し、神奈川へと誘ったが、明治になると、豊かな自然と美しい景色を求め、多くの文化人や政治家たちが移り住む。鎌倉や大磯などに独特的の湘南文化が育まれた。



神仏習合の聖なる島・江の島 大山詣りとセットになつた江戸庶民の巡礼スポット



相模湾に浮かぶ江の島（左）は古くから参詣、遊山の地として賑わつてきんだ。島の最奥部にある岩屋（中）は、空海のほか日蓮上人も修行したといわれ、江の島信仰発祥の地ともいわれる。江島神社の辺津宮（下）は建永元（1206）年に源実朝が創建。島の玄関口にあたり、神社の祈祷は主にここで行われる。

北斎も広重も描いた 弁財天を祀る美しい島

江の島の由来は「絵島」であるとも聞く。海から突き出た岩山は絵のように美しく、古来、人々の崇敬を集めてきた。北斎や広重など江戸時

代の絵師も好んで題材に選んでいる。太平洋に臨む洞窟の「岩屋」が古くからの信仰の要であった。波の侵食によってできた海蝕洞で、奈良時代に活躍したという修驗道の祖・役小角もここで修行したと伝わる。弘

仁5（814）年には空海が岩屋

本宮を創建し、その後も慈覚大師らが本宮、上宮、下宮からなる江の島宮の姿を整えたとされる。

江戸時代に信仰の対象となる弁財天が祀られたのは寿永元（1182）年、奥州藤原氏調伏のため、賴朝の命を受けた文覚上人が琵琶湖竹生島の弁財天を勧請したことによる。当時の作である八臂弁財天像は8本の腕に剣や弓矢を持ち、いかにも戦いの女神らしい姿だ。

琵琶を持った姿でも表現される弁財天は、歌舞音曲の守護神としての性格も併せ持つ。江戸時代には歌舞伎役者や琵琶法師といった芸能に携わる人々も多數参拝したという。

本物は奉安殿に収められている。



SPECIALTY



湘南の生しらす

1月から3月中旬の禁漁期間を経て、三浦から小田原の相模湾沿岸で水揚げされるしらすは湘南名物の一つ。鮮度が低下しやすいため、獲れた日にしか味わうことができない貴重品。濃厚な旨味を味わうにはしらす丼がおすすめ。江の島では、参道沿いを中心に多くの店で提供している。「かながわの名産100選」の一つ。

3社からなる 江島神社が鎮座する 相模湾に浮かぶ島

列を成して参詣に向う女講中たちが岩屋の前で楽しんでいる様子が描かれた、広重作
「相州江の島弁財天開帳詣大宮岩屋の図」。大判錦3枚続の大作（国立国会図書館蔵）



写真撮影：藤沢市



美しい自然と景観を誇る風光明媚な地

名物

神仏習合の聖なる島・江の島

その他おすすめスポット&情報

弁財天仲見世通り

江の島の弁財天へと続く参道には多くの土産物屋や食事処が並び、いつも観光客で賑わっている。なかでも汁出で煮たサザエを卵でじて井にした「江ノ島丼」が名物。最近話題の「たこせんべい」はお土産としても人気。



岩屋

長い歳月を経て波の浸食でできた岩屋は、第1岩屋（奥行152m）と第2岩屋（奥行56m）となる。長年閉鎖されていたが、平成5（1993）年に再開。全長128mのオーブンスペースからは相模湾越しに富士山や箱根・伊豆方面が一望できる。



遊覧船べんてん丸

片瀬と島の西端、稚児が舟を結ぶ遊覧船。海上から江の島や周辺の景観が楽しめる。運航は海の状況にあわせて不定期のため事前の問い合わせを【電話】0466-22-4141（藤沢市観光センター）【料金】一般400円



江の島エスカー

昭和34（1959）年につくられた国内初の屋外エスカレーター。全長は106mで、高低差46mを四つのエスカレーターで結ぶ。歩くと20分のところが4分で上れる。1区間だけ、途中からの利用も可能【料金】一般360円（全区間）



片瀬江ノ島駅

小田急電鉄江ノ島線の片瀬江ノ島駅は竜宮城を模した独特なデザイン。住民や観光客に長年親しまれてきたが、老朽化と駅前の再整備のため、約90年ぶりに建て替えられることとなった。竣工は2020年の東京五輪にあわせて予定。



片瀬漁港直売所

片瀬江ノ島駅近くの片瀬漁港には直売所もある。沖の定置網からその日水揚げされた魚を販売する。朝9時から夜まで売り切れ次第終了となる（土曜定休）。毎月第1日曜には市内で採れた野菜を販売する朝市も開催。その日は魚も特別価格で販売される。



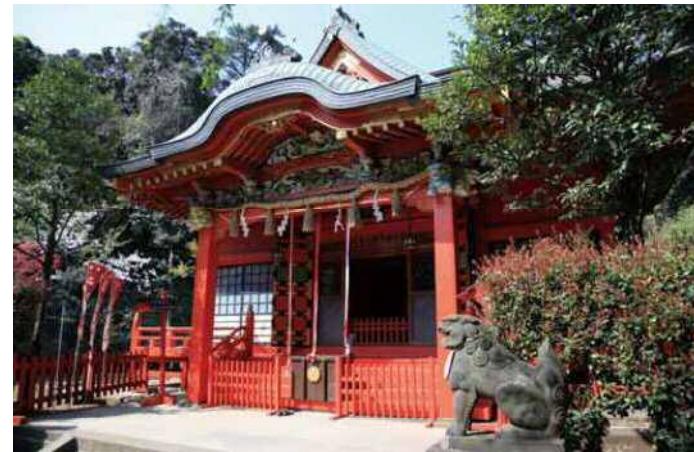
S P O T



立ち寄り所

新江ノ島水族館

遊びながら学ぶことができるエデュケーション型水族館。富士山など美しい景観を背景にパフォーマンスする「イルカショーシャツジアム」は必見。オーシャンデッキも人気高い【住所】藤沢市片瀬海岸2-19-1【電話】0466-29-9960【営業】9:00～20:00（季節による変動あり）、年中無休【入場料】大人2100円 <http://www.enosui.com/>



元は上之宮だった中津宮。元禄時代に5代将軍徳川綱吉の寄進により社殿が再建された。現在の社殿は平成に改修されたもので、境内には江戸時代の歌舞伎役者から奉納された石燈籠も伝わる。



江戸時代の神仏習合と明治時代の廃仏毀釈

慶応3（1867）年の王政復古で天皇に政権が戻った同年、「神仏判然令」も発令された。それまでの神仏習合から分離へと舵が切られる。仏教体制から神道体制へと変わり、各地で廃仏毀釈が行われた。その程度はまちまちで、僧たちが神官となり、結果的に廃寺になったところもあれば、積極的に廃仏毀釈を行ったところもあった。ただ、神仏習合に長らく慣れていることもあり、ほどなく落ち書きを取り戻し寺は復活する。しかし、その過程で失ったものも少なくはなかった。



江戸から近い江の島は、大山とセントにして数日間の小旅行といった趣向で、娯楽好きの江戸っ子にとっては気軽な巡礼スポットだった。明治になり、他の社寺と同じように神仏習合の聖地だった江の島も廃仏毀釈によって大きな転換を強いられる。僧侶は僧籍を離れて神職となり、三重塔や楼門などが失われた。弁財天信仰も改められた。海運を司る宗像三女神すなわち奥津宮の多紀理比賣命、中津宮の市寸島比賣命、江島神社参道に残つた境内の本殿の歴史を伝える碑が建立された。

（1964）年に開催された東京オリンピックではヨット競技会場にも選ばれ、埋め立てが行われるなど島の姿は大きく変わった。現在はかつてあった三重塔のよう、江の島シーキヤンドルが建ち、島のシンボルとなっている。次回の東京2020大会でもセーリング競技が開催される予定で、江の島はこれからも変化を続けていくことであろう。

明治の廃仏毀釈で宗像三女神を祀る

湘南のシンボルとして親しまれる江の島シーキヤンドル（展望灯台）は、平成14（2002）年の江ノ電開業100周年事業の一環として建設された。入園料は江の島サムエル・コッキング苑とセットで一般500円。9:00～20:00（最終入場19:30）

横浜郊外の景勝地・金沢八景

広重も描いた江戸時代の人気観光地

写真協力：横浜市

小柴の通称で知られる漁港。アナゴやシャコを揚げ、「穴子井」が古名。魚や直営食堂も「金子田浜田のランチ」。



**描かれた浮世絵も多い
美しい景観を有する街**

鎌倉の東、7キロほどのところに位置する金沢は、鎌倉幕府の頃には鎌倉の外港の役割を担い、現在の東京湾沿岸地域や房総半島と結ぶ航路の玄関口として賑わった。

鎌倉七口の一つ、鎌倉と金沢手前の六浦をつなぐ道が通る朝東奈切通は、鎌倉幕府3代執權の北条泰時の命でつくられたものだ。

まったくの新造ではなく、古くからある隘路の拡幅だが、多くの人が物が行き来した。室町時代には六浦大道と呼ばれ、関所も設けられたことが古文書からうかがえる。

浄土式庭園が美しい称名寺（国

画題として有名な八つの名所）になぞらえたことから広まつたという。歌人の京極高門がその景色を表現し、広重が浮世絵に描いたことも加わり、観光地としても人気を博す。

今は埋め立てのため景観も変わってしまったことから広まつたが、称名寺や琵琶島を望む風景には当時の名残もあり、数多く描かれた、いまに伝わる浮世絵と見比べてみるのもいい。



京極高門の和歌を入れて描かれた大判錦絵の「金沢八景」。広重の代表作として知られる名所絵揃物だ。右列上から、内川暮雪、洲崎晴嵐、称名晚鐘、瀬戸秋月。左列上から、小豆夜雨、平湯落雁、乙籠薄帆、野島夕照（神奈川県立歴史博物館蔵）

東京湾に臨む 鎌倉の外港として 賑わった入江



いまでは失われてしまった風景も浮世絵や写真として残っている。右上は広重の「武州杉田の梅林」（神奈川県立歴史博物館蔵）、左上は「能見堂」（神奈川県立歴史博物館蔵）、下が広重の絵の題材にもなっている瀬戸橋を描った古写真（長崎大学附属図書館蔵）



横浜のあなご

東京湾のアナゴは江戸前を代表する食材。旬は5月半ばから9月で、ほどよく脂が乗り、身がふっくらと厚くなる。天ぷらや寿司が一般的だが、脂の乗った時期であれば煮アナゴや白焼きもいい。素材の旨味が存分に味わえる。目の健康維持にもよいとされるビタミンAが豊富で、「かながわの名産100選」の一つ。



鎌倉の東、7キロほどのところに位置する金沢は、鎌倉幕府の頃には鎌倉の外港の役割を担い、現在の東京湾沿岸地域や房総半島と結ぶ航路の玄関口として賑わった。

指定史跡[†]は、泰時の甥に当たる金沢北条氏の祖・実時が敷地内に建立した阿弥陀堂が起源とされる。実事が収集した書物の収蔵庫を前身とする金沢文庫は国内最古の武家文庫である。日本はもちろん、世界的にも貴重な史料が大量に保管され、国宝の「称名寺聖教」と「金沢文書」も所蔵する。現在は県立の博物館だ。

賴朝が伊豆三島明神を勧請し建立したのが瀬戸神社である。神社前の海に突き出た琵琶島には、弁財天を祀る社が鎮座し、広重の浮世絵などにも描かれた。

金沢八景の名称は江戸時代、明の僧侶・心越禪師が能見堂から金沢を見め、中国の瀟湘八景（水墨画の



その他おすすめスポット&情報

横浜のしゃこ

東京湾で小型底曳き網により漁獲され、体長11cm以上のものが出荷される。春から夏が旬でアナゴとともに寿司だねとして人気。なかでも柴漁港で揚げられたものは「小柴のしゃこ」として珍重されている。「かながわの名産100選」の一つ。



漁港直売所

柴漁港には漁協直営の直売所も人気スポット。日曜・祝日の13:30~16:30に営業。売り切れ次第終了となり、天候不良などでない場合もあるので電話で確認するといい(045-785-6161/案内テープ)。隣接してアーチの天井が名物の直営食堂も。



琵琶島弁財天

源頼朝が伊豆三島明神を勧請して瀬戸神社を創建した際、北条政子が夫にならって日頃信仰する琵琶島の竹生島弁財天を勧請し、瀬戸神社の海中に島を築いて創建したと伝わるのが琵琶島弁財天。島の形が琵琶に似ていたことからその名がついた。



瀬戸神社

元来、金沢は入海の狭い海峡で、海上交通の難所であったため、瀬戸を祀ったことが起源とされる神社。鎌倉時代の文化財が多数保存され、源実朝が使用した北条政子が奉納したと伝わる御朱印二面(抜頭面と陵王面)は国の重要文化財に指定されている。



明治憲法起草地記念碑

明治憲法を記念する碑がある。当初、料亭の東屋で草案づくりをしていたが盗難事件が発生。以後、伊藤博文の夏島(横須賀市)の別荘で行われた。夏島憲法と呼ばれる所以だが、碑の基石は明治憲法全76条を示す76個の御影石で構成されている。



横浜シーサイドライン

全車両が無人運行システムによって運行されている横浜シーサイドライン。並木中央駅に隣接した車両基地は2週間前までの申し込みで見学可能。コンピュータ指令による無人運転の仕組みや車両の構造・安全対策などが学べる。



昭和63(1988)年に、金沢地先理立事業の一環として整備された海の公園。横浜で唯一という海水浴場を持つ。春先には潮干狩りも楽しむことができ、夏の海水浴シーズンとともに多くの人が賑わう。

いまも人気の
海滨公園もある
レジャースポット



立ち寄り所

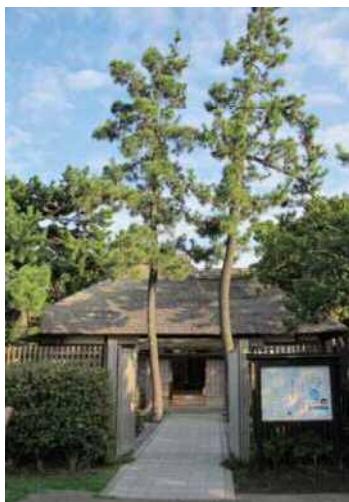


横浜・八景島シーパラダイス

横浜・八景島シーパラダイスは金沢の海に浮かぶ人口島につくられた複合施設。日本最大級の水族館やアトラクション、レストラン、ショッピングモールなどがある。水族館ではイルカと触れ合うプログラムが人気。マリーナもあり、おしゃれな雰囲気の中を散策できる。水族館の入館料は一般3000円。
<http://www.seaparadise.co.jp/>



野島公園の松林に囲まれた茅葺きの木造家屋が伊藤博文の旧別荘。平成21(2009)年に創建当時の姿に再建。横浜市指定有形文化財。



歴史や文化とともに
自然も楽しめるエリア

大正時代の埋め立てにより陸続きになった夏島には、この地で初代内閣総理大臣の伊藤博文が大日本帝国憲法の草案を練ったことを記念する碑が立っている。作業が行われた別荘は取り壊されたが、伊藤のもう一つの別邸が対岸の野島公園に残る。金沢八景の名前の由来ともなった能見台にはほど近い長浜の地に建つ木造平屋建ての建物は、野口英世ゆかりの旧細菌検査室である。明治28(1895)年に設置された「長浜検疫所」が前身であり、現存する野口関連の研究施設は全国でもここだけ。現在は記念館としてゆかりの品々が展示されている。

近代の金沢は海軍の街でもあった。横須賀にも近く、遊覧船で軍港巡りを楽しんだ乗客が瀬戸に上陸し、金沢八景の景色を堪能してから帰路に着いたという。また、野島公園には横浜唯一の自然海岸が残る。人口ながら海の公園や八景島など、いまも美しい景観を有する金沢は、歴史と文化と自然が楽しめる街である。



文人や政治家、外国人が愛した湘南 保養地・別荘地として発展した鎌倉・大磯・箱根



旧華頂宮邸は昭和4(1929)年に華頂博信侯爵邸として建てられた。鎌倉日本遺産の構成文化財の一つで「日本の歴史公園100選」にも選定。

いまもいきづく 古き良き鎌倉の 別荘文化

数多くの文人が
暮らした街

明治時代に入ると、皇族や華族、政財界の富裕層が鎌倉・湘南地域に洋風・和風の別荘を建てるようになる。関東大震災後、新たに別荘開発され、利便性を増した鎌倉山は、高級別荘地としてその名を全国にとどろかせた。

在目にすることができるほどんどが昭和初期のものである。

木造3階建て、銅板葺きの屋根が特徴的な洋館、旧華頂宮邸は昭和4(1929)年の建築だ。国の登録有形文化財に指定され、フランス式庭園のほか、通常非公開の建物内部も、春秋の年2回、日を限って公開されている。

やがて、高浜虚子、久米正雄、芥川龍之介や川端康成といった文化人たちが鎌倉の雰囲気に惹かれ居を構えるようになる。その多くは老朽化や所有者の代替わりで取り壊されてしまったが、一部の建物はいまも個人宅として使われている。鎌倉ベン

鎌倉山のつづら折りの道をゆくと緑に包まれた山門が見える。鎌倉西御門にあつた高松寺から移築された権亭の入口である。現在は飲食店として営業しているこの建物は、養蚕で財を成した農家の屋敷を移築したもの。広大な庭に建つ茶室や羅漢像などが所有者の趣味を偲ばせる。

明治・大正時代に建てられた別荘の多くは関東大震災で失われた。現の多くは関東大震災で失われた。現

自ら建築に関わった旧里見亭邸や吉屋信子記念館のように条件付きで公開されているところもある。

そうした「鎌倉文士」の活動を学び知ることができるのが、長谷の丘に建つ鎌倉文学館である。昭和11(1936)年竣工の前田候爵別邸だった建物で、一部鉄筋コンクリートの木造3階建は、屋根に葺かれた青いスパニッシュ瓦や随所に施されたアール・デコの意匠が美しい。頼朝が築いた中世の武家の街をベースに古き良き時代を醸す建物が残る鎌倉はまさにモザイク模様で、訪れる人々を魅了する。



芥川龍之介は横須賀の海軍機関学校で英語を教えていた頃、由比ガ浜に下宿し、1年ほど元八幡堀近くの借家で新婚生活を送っている。この頃は「地獄恋」や「蜘蛛の糸」などを發表した充実期だった。(国立国会図書館蔵)



東京丸の内にあった旧三菱銀行本店や丸の内ビルディング旧大館などの設計を行った桜井小太郎が15年の歳月を費して大正5(1916)年に完成させた古我邸。現在はレストラン、結婚式場、カフェとして利用されている。

大正15(1926)年に作家里見弾が自ら設計に関わり暮らした家。建築家ライトの意匠を取り入れた、印象的な外観を持つ建物。非公開だが、イベント企画や貸しスペースとして利用されている。



S P O T 立ち寄り所

葉山しおさい博物館
葉山御用邸付属跡地にできたしおさい公園内に建つ博物館。入口は御車寄せを移築したもの。葉山周辺の海に生息する魚類や貝類などに関する展示のほか昭和天皇のコレクションも。無料だが公園の入園料(一般300円)が必要【住所】葉山町一色2123-1【電話】046-876-1155【開館】8:30～17:00、月曜休館



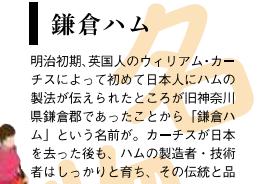
作家吉屋信子の元住居が鎌倉市に寄贈され記念館となった吉屋信子記念館。現在は市民の学習施設として多くの人々に利用されている。



橋亭は鎌倉の別荘地、鎌倉山が開発された当時の歴史をいまに伝える貴重な場所。昭和44(1969)年から和風レストランとして営業(写真提供: 橋亭)



鎌倉文学館本館からは、湘南の海が望める。本館前には芝地が広がり、樹齢200年を超えるオムラサキツツジやスタジイの巨木も見ることができる。



S P E C I A L T Y 名物

鎌倉ハム

明治初期、英国人のウィリアム・カーチスによって初めて日本人にハムの製法が伝えられたところが旧神奈川県鎌倉郡であったことから「鎌倉ハム」という名前が。カーチスが日本を去った後も、ハムの製造者・技術者はしっかりと育ち、その伝統と品質は現代にも受け継がれている。「かながわの名産100選」の一つ。

写真協力 鎌倉市 葉山町 大磯町 箱根町





かつては三井財閥本家の別荘地であった神奈川県立大磯城山公園。展望台からは絶景が楽しめ、天気がよければ相模湾の向こうに富士山を望むこともできる。



吉田茂が暮らすと人気を博した吉田茂邸。昭和30年代に吉田五十八が設計した新館をメインに再建。



大正元（1912年）、貿易商の別荘として建てられた大磯迎賓館（旧日本下家別邸）。国産材が使われた国内最古のツーバイフォー建築。現在はレストラン。



伊藤博文は大磯の温暖な気候が気に入り、明治30（1897）年には本籍も移している。伊藤博文も松本潤（伊藤博文に相談したことでの誕生したといわれる）とお話し合った。



300年以上の歴史を有する、日本三大俳諧道場の一つの鳴立庵。80以上もの石造物が安置され、芭蕉句碑や歴代庵主の句碑も見物できる。

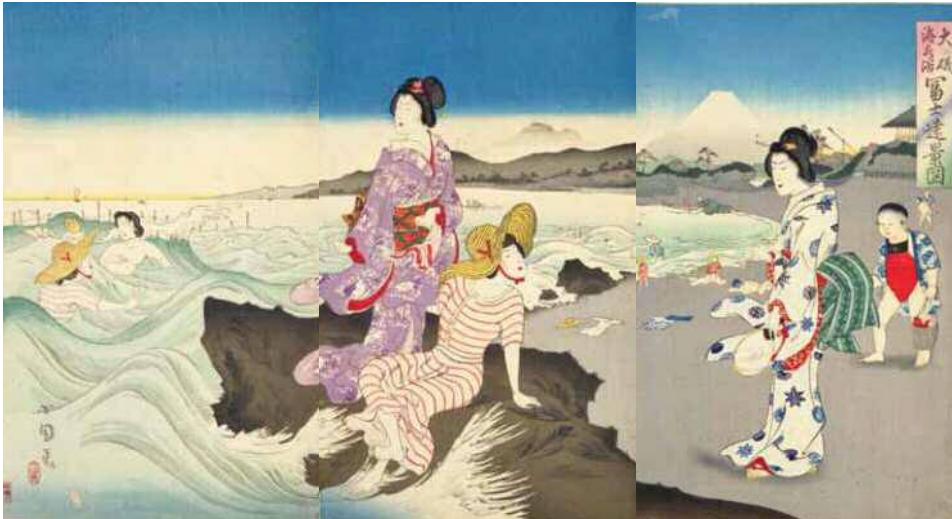


「湘南の丘陵と海」をテーマに、展示・教育普及などの活動を行う大磯町郷土資料館、考古・歴史・民俗、自然の4分野を中心調査研究を進めている。

8人の歴代首相が 居を構えた 別荘地・大磯

たり政界の奥座敷ともいべき様相で、そのような大磯に財政界の要人たちも競って別荘を建てた。室町時代に小磯城があつた東海道を見下ろす丘陵地帯は、三菱財閥をつくった岩崎家の別荘があつたところである。昭和26（1951）年に国宝指定された織田有樂齋の茶室「如庵」も一時期この地に移設されていた（現在は愛知県犬山市）。当時の建物は、昭和16（1941）年に建てられた北蔵を残して散逸してしまったが土地の一部は神奈川県立大磯城山公園として整備され、太平洋に臨む広大な景観が楽しめる人気スポットとなっている。

城山公園の南側を抜ける東海道を挟んで向かい合う位置に建つのが旧吉田邸だ。明治17（1884）年に養父・吉田健三が建てた別荘を引き継いだ吉田が晩年まで過ごした屋敷である。平成21（2009）年に火災により失われてしまったがその後再建され、庭園とあわせて公開されている。吉田をモチーフにしたユニークなオブジェも設置されているので併せてチェックしたい。



明治になり移り変わる世の中の様子を描いた開化絵。小国政作「大磯海水浴 富士遠景図」では水着を着て海水浴を楽しむ女性たちが描かれている（国立国会図書館蔵）



大磯市

毎月第3日曜日に大磯港で開かれる県下最大級の朝市。クラフトヤードなど90店舗ほどが出店。夏場は夜市に。同時に大磯魚市場ではさかな朝市（7月は第2日曜日）も開催。獲れたての新鮮な魚が並ぶ。大磯港までは大磯駅から徒歩約15分【営業】9:00~14:00（7~9月は17:00~20:30）<https://www.oisoichi.info/>



大磯には趣の異なる三つの海岸（北浜海岸、照ヶ崎海岸、こゆるぎの浜）がある。万葉集や古今和歌集などでも詠まれた海岸。財政界の重鎮たちが居を構えたエリアにある。

県南中央部、相模湾に臨む大磯町は、背後の丘陵地帯に守られ、冬は暖かく夏は涼しい。過ごしやすい気候とともに美しい砂浜を有したことから、明治18（1885）年、陸軍医監を務めた松本順が日本で初めて海水浴場を開設した。以後、大磯は財政界の人々がこぞって別荘を建てた人気保養地となつた。

初代内閣総理大臣・伊藤博文も大磯を深く愛した一人である。伊藤は小田原に別荘を持っていたが、道中目にした大磯の景色に魅了され、病氣療養中の夫人のためにと、小田原の別荘と同じ名称の滄浪閣を建てた。

やがて住所も移してこの地に暮らした伊藤は気さくな人柄だったとのことで、軽装で出かけては地元の人々とのふれあいを楽しんだという。伊藤以外にも大磯には、山県有朋や大隈重信、西園寺公望、寺内正毅、原敬、加藤高明、吉田茂といった、合計で8人の首相経験者が居を構えている。明治・大正・昭和にわたり政界の奥座敷ともいべき様相で、そのような大磯に財政界の要人たちも競って別荘を建てた。室町時代に小磯城があつた東海道を見下ろす丘陵地帯は、三菱財閥をつくった岩崎家の別荘があつたところである。昭和26（1951）年に国宝指定された織田有樂齋の茶室「如庵」も一時期この地に移設されていた（現在は愛知県犬山市）。当時の建物は、昭和16（1941）年に建てられた北蔵を残して散逸してしまったが土地の一部は神奈川県立大磯城山公園として整備され、太平洋に臨む広大な景観が楽しめる人気スポットとなっている。

城山公園の南側を抜ける東海道を挟んで向かい合う位置に建つのが旧吉田邸だ。明治17（1884）年に養父・吉田健三が建てた別荘を引き継いだ吉田が晩年まで過ごした屋敷である。平成21（2009）年に火災により失われてしまったがその後再建され、庭園とあわせて公開されている。吉田をモチーフにしたユニークなオブジェも設置されているので併せてチェックしたい。

日本初の海水浴場が開設された美しい浜

近代的ホテルもできた 日本初の高原リゾート

横浜居留地の外国人数は明治時代には数千人に上った。外国人の遊歩区域は居留地から最大10里四方と定められていたが、温泉に行くといえど許可されたという。

多くの外国人が箱根を訪れるようになり、米国帰りの実業家・山口仙之助は明治11(1878)年に宮ノ下に富士屋ホテルを開業する。

山口とも親交があつたドイツ医師ベルツもしばしば箱根を訪れ、温泉の医学的活用に着目した。自身も箱根・木賀温泉に別荘を所有し、病弱であった皇太子のための保養を進言。明治19(1886)年に芦ノ湖畔に箱根離宮が完成した。

(正兄)は、交通整備の必要性を説く福沢諭吉のすすめを受け、馬車や人力車も通れる道を完成させた。さらに私費を投じて地元有志と国府津・湯本間に馬車鉄道(現在の箱根登山鉄道)を明治21(1888)年に開通させ、以後箱根は日本初の高原避暑地として発展する。

西洋人たちが 避暑に訪れた 高原の箱根

ベルツ(左から3人目)は明治9(1876)年に東京医学校(現・東京大学医学部)の教師として招かれ、日本の医学発展に貢献。ドイツ式クアハウスも政府に進言したが実現しなかった(放送大学附属図書館蔵)



箱根離宮の跡地につくられた県立恩賜箱根公園。その中ほどに建つ湖畔展望館はかつての離宮を思わせる外観。展示されている箱根離宮の資料が古きよき時代を物語る。2階のバルコニーからは芦ノ湖やその先の富士が望め、ひととき優雅な気分に浸れる。



Episode 逸話

文化財の 建物を持つ宿が 12軒ある神奈川

東海道が通り、早くから觀光地として発展してきた神奈川県は登録有形文化財の建物を持つ宿も多い。その数は全国有数の12軒で、そのうち箱根がもっと多く8軒が所在する。

塔ノ沢の「萬翠樓 福住」は寛永2(1625)年に開業した老舗で広重も逗留した由緒ある宿だ。敷地内に建つ萬翠楼と金泉樓は明治初期の木骨石造建築の技法を伝える遺構として、国の重要文化財に指定されている。



富士屋ホテル御殿(1936年築)には国内初という屋内温泉プールも。いまも現役(国立国会図書館蔵)



「富士屋ホテル」はヘレン・ケラーやチャップリンなど、海外の著名人も多数宿泊した箱根のシンボル的な宿。隣接する菊華荘は明治28(1895)年に御用邸として建てられたもので、本館を含めた五つの建築物が登録有形文化財である。

箱根では「吉池旅館」や「箱根湯本ホテル」、「元湯 環翠楼」や「福住楼」、「塔の沢の湯本館」や「箱根太陽山荘」も登録有形文化財の建物を持つ。

また、湯河原町の「上野屋」や鎌倉市由比ガ浜の「かいひん荘鎌倉」、藤沢市江の島の「岩本楼」や茅ヶ崎市の「茅ヶ崎館」なども貴重な文化財の建造物を保有する歴史ある宿である。

芦ノ湖越しに望む富士山は箱根を代表する景観。スコットランド北部に似ていると称した外国人もいたというが、彼らは芦ノ湖でボート遊びをしたり、周辺をハイキングしたりして楽しんだ。次第に日本人実業家たちも避暑に訪れ、別荘を建てていく。



芦ノ湖のわかさぎは大正7(1918)年に霞ヶ浦から種卵を移植したことから始まる。以来、100年近くの歴史を持ち、毎年10月1日の刺網漁解禁日には宮内庁にも献上されるほど上質。平成21(2009)年には箱根の町の魚に指定され、地元レストランや食堂の料理として人気。「かながわの名産100選」に選ばれている。

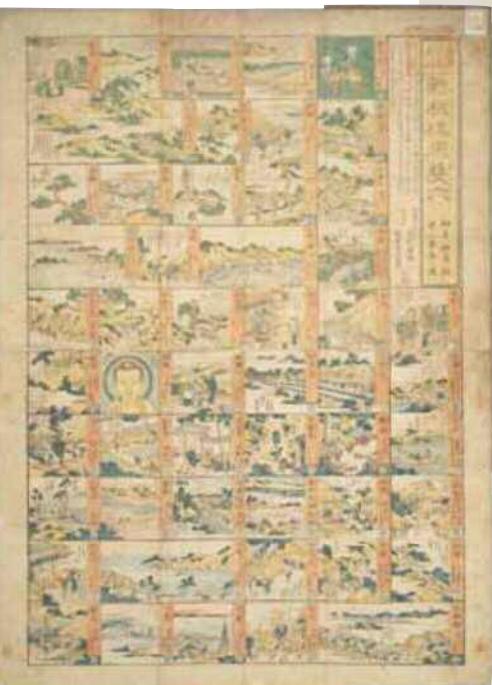
江戸時代の温泉は長期滞在の「湯治」が主流だったが、箱根の温泉は「一夜湯治」として客を呼び、気軽に温泉利用を促進した。広重作「箱根七湯図会 宮の下」(国立国会図書館蔵)

箱根宿にあった宿はふと「チャエア」と呼ばれる駕籠に乗る女性(附属図書館蔵)

北斎が描いた相州と武州
神奈川観光を楽しむ双六

鎌倉江ノ島 大山 新板往来雙六

かまくら えのしま おおやま しんばんおうらいすうごろく



大山詣りの水垢離の様子を描いた北斎「諸國瀧廻り 相州大山ろくべんの瀧」(神奈川県立歴史博物館蔵)。大山詣りは、帰りに江の島に寄つても数日ほど。箱根の関所も通る必要がなく気軽に旅ができた。

県内各所に伝わる風光明媚な場所や歴史的スポット。江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎も注目していたようだ。

生涯に3万点ほど描いたといふが、美人画や役者絵、春画などとともに数多くの風景画を描いていた。なかでも有名なのが「富嶽三十六景」。

富士山を様々な角度から描いた物である。

その口ヶ地は現在の1都7県(東京、神奈川、静岡、山梨、愛知、長野、千葉、茨城)

に及ぶ。もっとも多いのが東京で、18カ所で描かれた。続いて多いのが神奈川の7点。海上から写した有名な「神奈川沖浪裏」も含めてだが、場所が比定できるものでは静岡(6点)や山梨(6点)が多い。

刊行されたのは、天保2(1831)年から同4年頃で、当時、富士講などで富士山登拝が人気だった。江戸の庶民は富士へ憧れたが、登拝が叶わないならせめて錦絵だと

けでも、といつといふだった。神奈川は、大山や江の島の弁財天など人気参詣地があり、富士よりも訪れやすかつた。江戸っ子にとって馴染み深い場所だったのだ。

北斎はまさに、そのような神奈川各所を訪ね回る双六も描いている。「鎌倉江ノ島大山新板往来雙六」というもう一つ、「相州江の島」(神奈川県立歴史博物館蔵)。かつて、江の島では干潮時に現れた砂嘴を歩いて渡った。いまは橋が架かるが、参拵が島の中に続く様子はいまも変わらない。

ほか、長津田や伊勢原、厚木、愛甲などもコマとなっている。特に多い場所が鎌倉だ。雪ノ下や巨福昌坂、建長寺や円覚寺、大仏などだが、ただ、大仏の姿が若干違っている。旅の絵師北斎も、大仏を見ていなかつたようにも思われるが、それだけ鎌倉の大仏は謎めいていたということかもしれない。当時の人々がこの双六で、ワイワイいいながら神奈川巡りをする様子を想像する



横浜と横須賀 開国・近代化の 舞台となつた

第5章

ペリー来航によつて日本の歴史は大きく変わる。
米国艦隊が現れたのは横須賀沖であつた。ペリー提督は久里浜に日本初上陸し、
翌年、横浜で日米間初となる和親条約を結ぶ。横浜は開港され、居留地がつくられ、
急ピッチで街づくりが進む。その後、郊外の生麦で幕末の一大事件が起こる。
明治の時代になつてまもなく150年。

横浜をはじめ県内各所には当時の歴史を偲ぶ遺産が数多く伝わる。



久里浜沖に現れた4隻の米艦隊 日本の歴史を塗り変えた黒船来航



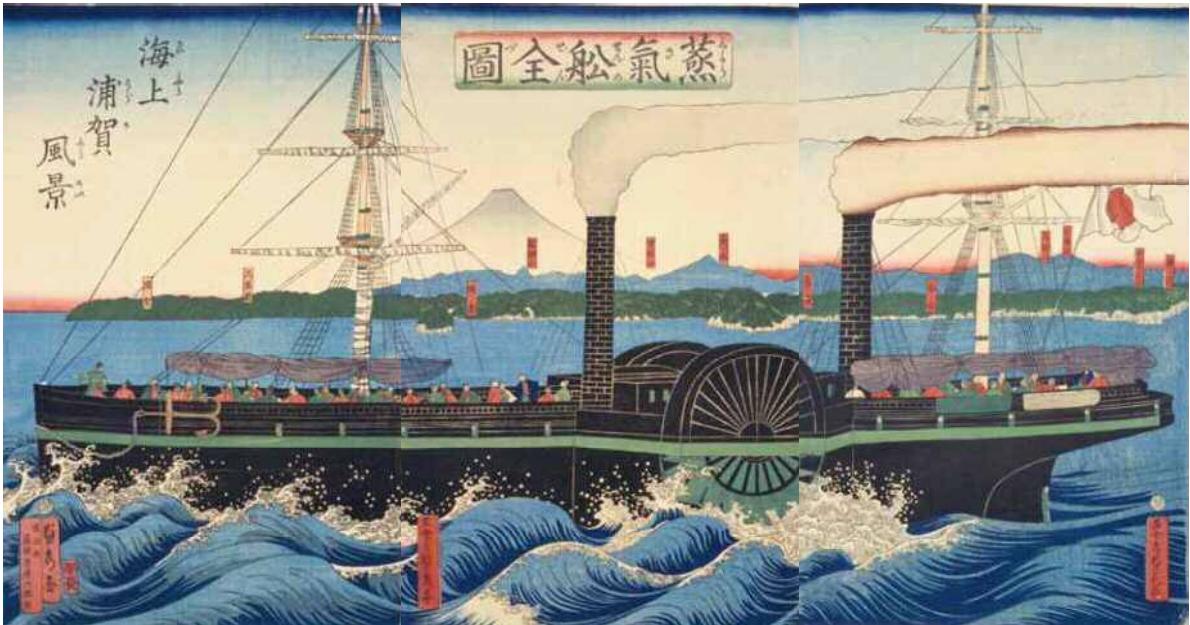
文化文政期（1804～1830）の頃から日本近海に出没するようになった異国船から江戸を防備するため、海防の重要な役割を果たしていたのが浦賀奉行所である。現在、堀の石垣と表門の前にかかっていた石橋の伊豆石が4、5枚残るだけで、当時の様子を偲ぶことは難しい。



「浦賀猿島上総房州台場絵図」には、江戸時代末に浦賀周辺に築かれていた台場とそれとの距離が記されている。図上側が三浦半島（国立国会図書館蔵）



中島三郎助は一度黒船への乗船を拒否されたが、機転をきかせて同僚の香山栄左衛門を浦賀奉行、自分を副奉行と名乗り黒船に乗り込むことに成功した（中島三郎助資料室蔵）



明治時代に錦絵を数多く描いた五雲亭貞秀作「蒸氣船全圖 海上浦賀風景」。三浦半島沖をゆく外輪蒸気船が詳細に描かれ、背景には富士や大山も（国立国会図書館蔵）



嘉永6（1853）年5月7日に発行されたペリーの日本遠征を伝える「絵入りロンドン・ニュース」。ペリー艦隊の日本派遣はヨーロッパでも注目された（横浜開港資料館蔵）

横須賀市80周年を記念して建てられたペリー記念碑。ペリー来航に関する資料や模型などが展示され、絵巻物や瓦版などから当時の人々の驚きなどを知ることができる。

明治34（1901）年に米友協会によって建てられたペリー上陸記念碑。碑文の「北米合衆国水師提督伯理上陸記念碑」と書かれた文字は伊藤博文の筆によるもの。



う。
サスケハナ号で対面した中島と
ウイリアムズの間には、ちょっとし
た因縁があった。
ウイリアムズはかつて、モリソン
号の乗員として天保8（1837）
年に浦賀沖にやってきたことがあつ
た。砲撃を受けて上陸も許されない
まま追い返されたが、そのときの砲
手が中島だったのである。

その後も中島は浦賀奉行所与力の
香山栄左衛門と共に折衝に当たり、
このときの経験から軍艦の製造と艦
隊を持つ必要性を痛感。老中に意見

書を提出する。
中島の訴えを元に浦賀に造船所が
設置され、中島主導でその年のうち
に日本初となる洋式軍艦「鳳凰丸」
が建造された。

その後、中島は戊辰戦争で蝦夷地
に渡り戦死する。その志を継いだ荒
井都之助らの同士の働きで、明治29
(1896)年に浦賀船渠株式会社
が創設された。

浦賀の南に位置する久里浜には、
ペリー上陸を記念した「ペリー公園」
がつくられ、敷地内には伊藤博文の
揮毫による記念碑と記念館が建つ。

米国との 折衝役となつた 浦賀奉行所

中島三郎助が対応

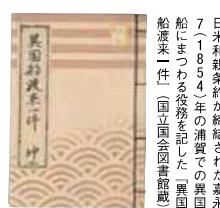
嘉永6（1853）年、米国大統領の国書を携えたペリー提督率いる

4隻の船が浦賀沖に現れた。うち2隻が、煙突から黒々とした煙を吐く蒸気船であった。その報告は浦賀奉行所から幕府に伝わり、浦賀奉行所の中島三郎助が対応する。

旗艦のサスケハナ号に乗艦した中

島は、船や装備の大砲にも興味を示す。メモを取っては熱心に質問する姿を見て、米国側の通訳・ウイリアムズは「奇抜な言動だ」と不審がつたと伝わる。

このとき同行した通訳の堀達之助は、嘉永元（1848）年に漂着した捕鯨船の乗員から英語を教わり、日本で初めて英語を学んだとされる人物。ただし、堀が得意としたのは、当時国交があつたオランダ語であり、乗船に際してはまず「自分はオランダ語を話せる」と英語で告げたとい



写真協力：横須賀市

日米和親条約が締結された嘉永7（1854）年の浦賀での異国船にまつわる役務を記した「異国船渡來一件」（国立国会図書館蔵）

世界的にも貴重な れんが製ドライドック

函館で戦死した中島三郎助の遺志を継いで完成した浦賀ドックは世界でも貴重なれんが製である。通常は非公開だが、「咸臨丸フェスティバル」や「中島三郎助まつり」などのイベント時には見学の機会が設けられている。ドックに近い郷土資料館とあわせて見学すれば一層理解が深まるだろう。

浦賀の入江を挟んで向かい合う位置に鎮座する叶神社。先に創建されたのは西叶神社の方で、江戸時代に浦賀村が東西に分かれた際、叶神社が分社され現在の姿になった。

平安末期、源氏再興を祈念した文覚上人が石清水八幡宮を勧請したのが始まりとされる。天保13（1842）年に建てられた西叶神社の社殿は、安房の彫り師・後藤利兵衛 橋義光の作品に囲まれている。花鳥草木を表現した格天井や、向拝で参拝者を見守る龍など、その総数は230にも上る。

浦賀から 米国に向けて 出航した咸臨丸



咸臨丸は全長48.8m、全幅8.74m、排水量625tの木造スクリー蒸気船。日本人96人を乗せて浦賀港を出港。荒波や船酔いなどと戦いながら航海。乗っていた幕臣の鈴藤勇次郎がその様子を絵にしている。福澤諭吉やジョン万次郎も乗船していた（CG成瀬京司）

Episode

逸話

叶神社に伝わる 見事な宮彫り

寺社の建築物に精巧に施された彫刻は「宮彫り」と呼ばれる。桃山時代から江戸幕末にかけて建築物に多用された日本独自の文化で、その芸術性の高さから海外からも注目されている。西叶神社には名工と名高い後藤利兵衛橋義光の作品が230以上も。未公開のものも多いが、本殿外観の棟木を支える「力神」は必見。その他、どこにあるか探してみるのもいいだろう。



利兵衛は江戸の後藤三次郎の門に学び、神社社殿の彫刻や山車、みこしなどを多く手掛けた。

東叶神社の裏山は明神山と呼ばれ、よく保全された自然林が残る。特にウバメガシの自生は県内でもこの明神山と城ヶ島だけ。ここが分布の北限とされる。



西叶神社社務所入口には「鎌絵」と呼ばれる白いレリーフが、「三浦の善吉」として知られた石川善吉の昭和初め頃の作という。

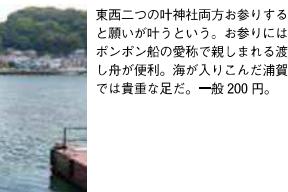


7（1860）年1月19日に浦賀港を出港した。途中荒天に見舞われたものの、翌2月26日にはサンフランシスコ港に到着。日本で初めて太平

洋横断を成し遂げた。無事に使命を完遂できたのは、勝の願かけのおかげだったのかもしれない。叶神社は願いが叶う神社としても知られる。



西叶二つの叶神社両方お参りする願いが叶うという。お参りにはボンボン船の愛称で親しまれる渡し舟が便利。海が入りこんだ浦賀では貴重な足だ。一般200円。



臨丸の航海安全を祈つて断食を行つた際にここで水垢離をとつたものだという。

咸臨丸は江戸幕府がオランダから購入した洋式軍艦で、日米修好通商条約の批准書を交換するため、軍艦奉行の木村撰津守や、艦長格として勝海舟ら遣米使節団を乗せ、安政

平成15（2003）年に閉鎖されるまで、1世紀以上にわたり約1000隻もの船をつくった浦賀ドック跡地。日本丸や海王丸もここでつくられた。



浦賀の郷土資料を展示する浦賀コミュニティセンター分館。p98の浦賀奉行所はじめ鳳凰丸や咸臨丸、ペリー艦隊などの模型も。入館無料。



毎年4月末に、咸臨丸の偉業を称えて行われる「咸臨丸フェスティバル」の様子。史跡案内など各種イベントが多数開催される。



通称「陸軍桟橋」と呼ばれるL字型の桟橋。周辺はボードウォークが整備され、浦賀港対岸の東叶神社を望む東屋も。ひと休みするのにいい。

天然の良港を有する 海路の要衝に位置し

「伊勢は津でもつ津は伊勢でもつ、尾張名古屋は城でもつ」

伊勢音頭の一節だが、これをもじると、近世の浦賀はイワシンでもついたといえる。

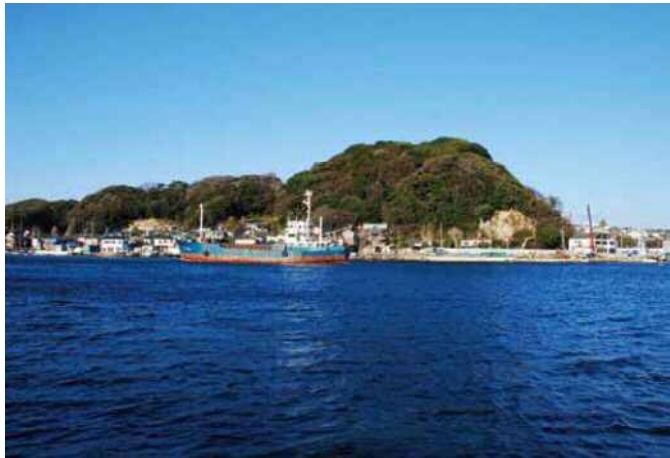
16世紀から17世紀にかけて綿花や菜種といった商品作物の栽培が規模を拡大する中、即効性のある肥料としてイワシやニシンなどの魚を干し固めた「干鰯」やメ粕（茹でたイワシを絞って干したもの）の需要が高まつた。

東日本の代表的な漁場は房総半島と三浦半島沖で、そこで獲れたイワシは加工されて各地へ運ばれた。

その中継基地として、干鰯問屋や廻船問屋が集まっていたのが浦賀であった。浦賀は奥行きのある湾をする天然の良港であると同時に、東京湾の出入口にあたる交通の要衝でもあった。浦賀は漁港で漁獲物を手にする漁場や遊郭なども軒を連ね、浦賀は三浦半島の一大商都として賑わつたという。

ピーク時には湊に集まる人々を相手にする銭湯や遊郭なども軒を連ね、浦賀は三浦半島の一大商都として賑わつたという。

享保5(1720)年に浦賀奉行所が置かれてから江戸へ出入りする船はすべて浦賀で船改めされた。廻船問屋も集まり街は発展する。以後、歴史の表舞台にも何度も登場。



立 ち 並 ん だ 物

干鰯問屋が 立 ち 並 ん だ 物



横須賀のこんぶ

横須賀は神奈川のコンブ養殖発祥の地。付近の海は潮流が速く養分も豊かなため、上質なコンブが生育する。身質はやわらかく、独特的な香りもあり、地元では人気があり。北海道の「だしコンブ」と異なり、早く煮えて調理にも最適で、炊き込みごはんや佃煮として食べるのがおすすめのこと。「かながわの名産100選」。



みうらの野菜

三浦半島は、日中は温暖で夜は冷えるという1日の寒暖差が大きいところ。ミネラル豊富な土壌はダイコンなどの野菜栽培に適している。特にキャベツは国の指定産地にもなっているほど。葉はやわらかく、シャキシャキとしてみずみずしい。ホクホクしたカボチャも名物。それぞれ「かながわの名産100選」。



2000本の桜を誇る県内有数の名所、衣笠山公園。ハイキングコースもあり三浦半島の自然が満喫できる。周辺は11世紀に築かれた三浦氏の居城跡。



慶安元(1648)年に幕府の命でつくられた燈明堂。菜種油で灯された光は海上4海里を照らすといふ。雨風で崩壊していたが、昭和63(1988)年に復元された。

その他おすすめ スポット&情報

ミニコラム 水軍を有した三浦一族が 拠った海に臨む怒田城

治承4(1180)年、畠山重忠の軍勢と遭遇して却かを決めた三浦義明に敗れた和田義盛は海に臨む怒田城での築城を主張した。怒田城は久里浜の丘陵を利用してつくられた平山城で、防御に優れた要害だった。義明は一族の本拠地である衣笠城での決戦を決断して討ち死にを遂げ、残された一族は海路で安房に逃げた。

鎌倉入りした源頼朝は義明の死を悼み、

三浦一族を幕府の重臣として重用した。支

族である和田氏や本家の三浦氏は頼朝の死

後に北条氏との政争に敗れて滅び去ったが、

分家の佐原氏は生き残り三浦氏を再興、戰

国時代にその名を馳せた。



三崎のまぐろ

三崎半島の最端に位置する三崎港は、刺身や寿司ネタに用いられるマグロの水揚げ港として知られている。漁港周辺にはマグロ料理の店がたくさん点在し、観光スポットにもなっている。県を代表する名産品として「かながわの名産100選」にも選出。



神奈川県立観音崎公園

東京湾に突き出た観音崎に広がる敷地面積70.4ヘクタールの自然豊かな公園。園内は照葉樹林で覆われ、野鳥や植物が多種類生息する。海や自然の情報を紹介する「観音崎自然博物館」や、海を見渡せるおしゃれなリゾートホテルも建つ。



くりはま花の国

花がテーマの公園。春はポピー、秋はコスモスが100万本咲き誇る。約80種8000株が植えられたハーブ園や、ハーブがフレンドされた足湯も、充実した遊具もあり家族連れに人気。入園無料、無休。<http://www.kanagawaparks.com/kurihama-perry/>



日米和親条約と生麦事件 幕末の重要な条約と重大事件の現場となつた横浜



随行画家のハイネ作「日本遠征石版画集 Graphic Scenes in the Japan Expedition」でのペリー肖像。ダゲレオタイプをもとに石版画にしたもの(神奈川県立歴史博物館蔵)



大さん橋に臨む開港記念広場。市民憩いの場だが、いくつかの造構も展示されるまさに歴史的スポット。日米交流150周年の際には記念樹も植えられた。



応接所に入るペリー一行。当初は浦賀に用意していたが急遽、海上輸送し横浜に設置。約500人の水兵とともにペリーは横浜に初上陸(横浜開港資料館蔵)



日本側が着席。4回の会談後、条約が結ばれた(横浜開港資料館蔵)
日本会談を行った応接所見取図。図の右側に米国、左に林立した頭ら

ペリー提督の再訪と 日米和親条約締結

浦賀で大統領の国書を手渡したペリーは、猶予を求める幕府の要請を受け入れ、東京湾の測量を行うに留め帰国の途についた。

嘉永7(1854年)、予告通りペリーは東京湾上に現れ、横浜の小柴沖に錨を下ろした。今回の艦隊は軍艦が7隻で、返答次第では武力行使も辞さないという圧力だった。江戸での交渉を終ったペリーだったが、粘り強く説得を重ねる幕府に譲歩し、横浜村駒形に新しく設置された応接所での協議に応じる。現在の横浜市中区、横浜開港資料館がある辺りとされる。

と、昭和6(1931年)年に建てられた元英國総領事館の旧館からなり、旧館は横浜市の指定文化財に登録されている。新館と旧館に囲まれた中庭には「たまくすの木」と呼ばれるタブノキの大樹がはえている。ペリー艦隊に随行していた画家ハイネ作の「横

双方の協議の結果、同年3月31日に日米和親条約が結ばれた。

条文は12カ条からなり、これによつて下田と箱館(函館)の開港及び、下田に米国の領事館を設置することなどが決定し、日本の鎖国体制は終了した。

横浜開港資料館に隣接する開港記念広場には、日米和親条約調印記念の地としての記念碑が立つ。また、外国人居留地にあつた大砲などが展示され、1980年代に公園の整備中、地中から発見されたレンガづくりのマンホールと下水道もガラス越しに見ることができる。

横浜開港資料館は、日本の開港と横浜の発展の歴史を紹介する内容も充実した博物館。展示を行なう新館

日米間で 結ばれた 最初の条約

66年の居留地の大火や関東大震災の大半が焼けたものの中を吹かせ、現在の地に移植して育ち続ける。

横浜開港資料館中庭の「たまくすの木」。慶応2(1866)年の大火や大

正12(1923)年の関東大震災などの災害に見舞われ、大きな被害を受けながらもそのたびに力強く復活を遂げてきた、歴史の生き証人なのである。



横浜開港資料館は25万点を超える文書記録や新聞雑誌、浮世絵などの資料を保管。随時企画展も開催している【住所】横浜市中区日本大通3【電話】045-201-2100【開館】9:30～17:00、月曜休館【入館料】一般200円 <http://www kaikou city yokohama jp/>

SPOT



Au jardin de Perry

店名のオーナー・ジャルダン・ドゥ・ペリーはフランス語で「ペリーの庭」という意味。横浜開港資料館の喫茶室にふさわしい名前。香り高いコーヒーとともに、食事や各種スイーツがいただける【電話】045-662-8345【営業】8:00～17:00、土日祝日は18:00まで、月曜と年末年始休み。



開港前夜の横浜と 外国人居留地誕生

日米和親条約の締結から4年後の

安政5（1858）年、米英仏露蘭5カ国との間に修好通商条約が結ばれ、各国との通商及び神奈川の開港が決まった。

神奈川宿の名寺には各国領事館や公使館が開設され、翌年、運上所が設けられた。貿易や外交業務、外国人の居留地整備などを総合的に行なう機関で、神奈川宿対岸の横浜村、現在の県庁辺りにつくられた。

米国総領事のハリスは、取り決めでは神奈川宿であると幕府に抗議するが、横浜も神奈川の一部として、強引に開港の建設が進められる。

新田地帯のため開発がしやすく、海は大型船が入港できる水深を有していた。また幕府は、外国人との接触によるトラブルを未然に防ぐこともあり、人が多く集まる東海道の神奈川宿を避けたかった。事実上、横浜が開港場となり、各國も利便性から、次第に領事館や公使館を横浜に移す。そのような中、やがて幕府の心配が現実のものとなつた。

日本の歴史が変わる 契機の二つとなった事件

その頃の日本では攘夷運動が高まりを見せ、文久3（1863）年には近隣の井土ヶ谷で、翌年には鎌倉で攘夷過激派による外国人殺傷事件が発生した。居留地に暮らす外国人は、10里四方までの外出は許可されていて、休日に郊外の散策を楽しむ外国人も多く、そこを狙った事件であった。

井土ヶ谷事件の前年の文久2（1862）年、東海道の川崎宿と

神奈川宿の間に位置する生麦村でも外国人殺傷事件が起きている。

江戸を出立し帰路についた薩摩藩主の父、島津久光の行列に、女性を含む4人の英國人が馬に乗つたまま割り込み、薩摩藩士に切られたのだ。

一人が死亡、二人が負傷するという事件で、日本の事情を知らない外国人の非礼に対する無礼討ちであった。

当時の横浜居留地に暮らす外国人たちは間で評判だったという。多摩川手前にある川崎大師への遠乗りは、美しい景色も堪能できると外国人たちの間で評判だったという。

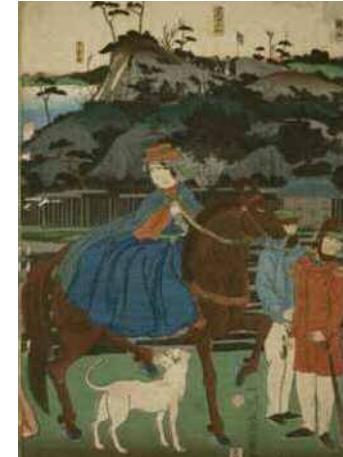
外国人のために英國海軍軽歩兵隊大尉ホーブズが制作した「横浜周辺外国人遊歩区域図」。赤いラインが安政の5カ国条約で規定された遊歩区域を示す（神奈川歴史博物館蔵）



上海の商人リチャードソンが殺害された生麦事件の現場付近の幕末写真。横浜で暮らしていた英国人写真家のベアトが撮影した（横浜開港資料館蔵）

東海道に臨む 漁村で起こつた 幕末の大事件

東海道の生麦をゆく大名行列が描かれた貞秀作「東海道之内 生麦」。発行は文久3（1863）年で事件の1年後になる。生麦は将軍に海産物を献する「御菜浦」の一つでのどかな漁村だった（国立国会図書館蔵）



一川芳昌作「神奈川権現山外国人遊覧」一部。馬に乗る外国人女性が描かれている。権現山周辺は最初に各国領事館が置かれたところ。幕末から明治にかけて山は削られ、土が台場や鉄道用地埋め立てに使われた（国立国会図書館蔵）



神奈川県庁本庁舎敷地内にある、神奈川運上所跡の碑。運上とは税金の事で、現在の税關業務や外交業務を行った。明治5（1872）年に横浜税関に改められ、いまに至る。



元治元（1864）年頃の「御開港横浜正景」。横浜が入り江を埋め立て造成されたことがわかる。港近くの大きな運上所や、左下の海に突き出た神奈川台場も描かれている（横浜開港資料館蔵）



山手から見た幕末の吉田新田の写真（横浜開港資料館蔵）。元は浅い入り江だったが17世紀半ばに材木商の吉田勘兵衛を中心となり11年の歳月を費やし干拓。吉田新田と呼ばれる。



万延元（1860）年、船舶の監視用に神奈川台場が築造された。勝海舟が設計し、伊予松山藩がつくった海防砲台は東西の幅が200m以上、約2万6000平米（約8000坪）だった。海に突き出た扇形の台場で1年以上の歳月をかけてつくられた。現在、一部が公園として整備されパネルなども設置されている。



開港後に相次いで発生した外国人殺傷事件に各國は激しく非難。幕府は警備強化のため神奈川宿の西側、神奈川台に門を開けた（長崎大学附属図書館蔵）

「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う唯一の博物館。5万点を超える資料を有し、先史・古代から現代に至る多くの時代で人々の生活や信仰、政治や経済、外来文化の影響などを歴史的視点で紹介、展示する。



ドームは関東大震災で焼け、昭和39(1964)年に復元された
【住所】横浜市中区南仲通5-60【電話】045-201-0326 <http://ch.kanagawa-museum.jp/>

5万点以上の資料を有する 神奈川県立歴史博物館

散歴歩

その他おすすめ スポット&情報

国道駅(JR鶴見線)

昭和5(1930)年に開設され、昭和初期の雰囲気をいまなお残すレトロな無人駅。第一京浜国道を跨いでいることからこの駅名に。駅舎はアルヌーボー風の趣ある建物で、開業当時は多様な店が立ち並び、多くの客で賑わったという。



港の見える丘公園

横浜港を望む絶景ポイント。外国人居留地だったところで、生麦事件で死亡したりチャードソンも眠る横浜外国人墓地にも近い。平成28(2016)年、いままでバラ園だったエリアは「イングリッシュローズの庭」としてリニューアルした。



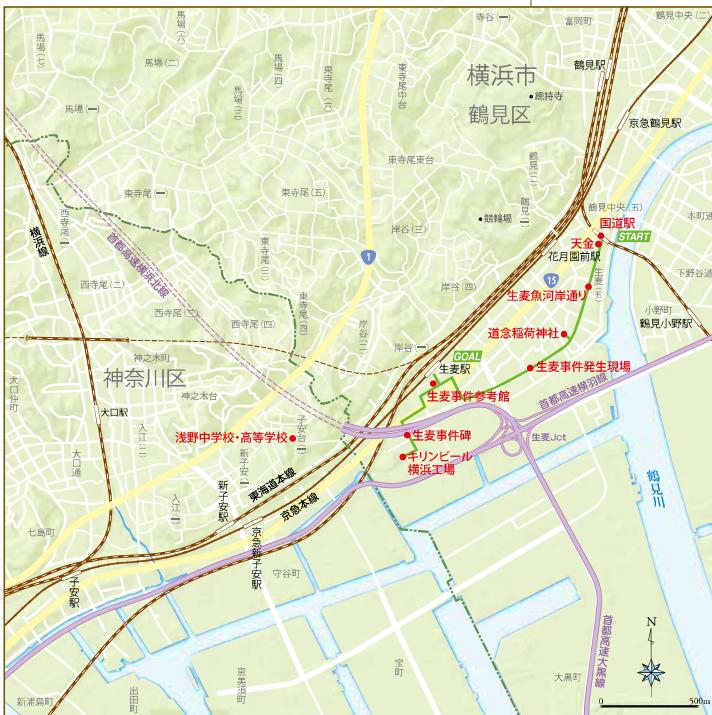
本覚寺

横浜開港の3日後に、米領事館として接收された本覚寺。日本で初めてベンキが塗られた寺としても知られる。生麦事件で負傷したマーシャルとクラークの二人はこの寺に逃げ込み、アメリカ人医師のヘボン博士から手当てを受けたといふ。



コース 13 日米和親条約と 生麦事件

- ～徒歩
- JR 国道駅～生麦魚河岸通り
- 道念稻荷神社～生麦事件発生現場～生麦事件参考館（要事前連絡）～生麦事件碑
- ～キリンビール横浜工場～



ACTIVITY

体験



キリンビール横浜工場

工場見学が幅広い世代に人気。ビルのこだわりに迫るツアーだけでなく、広大なビオトープを巡るツアーも、ビールづくり体験教室ではオリジナルビールをつくることができる。ネットで申し込むと便利。無料。【住所】横浜市鶴見区生麦1-17-1【電話】045-503-8250【開館】10:00～17:00、月曜休館 <http://www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama/>

S P O T

立ち寄り所



味童 天金

旧東海道の魚河岸通りにある料理店。名物のアナゴ天はじめ、主人が目利きした上質な地魚が、天ぷらや刺身などでいただける。生麦は漁村だったところだが、主人の先祖も代々ここに暮し、江戸時代の記録にも残るそう。JR 鶴見線・国道駅から徒歩約1分【住所】横浜市鶴見区生麦5-12-2【電話】045-521-5895【営業】11:00～22:00、第2・4月曜休み



生麦1丁目の旧東海道沿いには、事件を伝える碑が立っている。無駄死にはなかつたと、英國人を悼む内容である。いまでは記念碑の上を高速道路が通り、当時の面影は感じられないが、東へ700メートルほど行った事件現場付近は、道も緩やかにカーブするなど旧東海道の雰囲気を残している。



明治16(1883)年に鶴見の黒川荘三が英国人の死を悼み、事件の風化を防ぐため生麦事件碑を建立。毎年、事件のあった8月21日には記念祭が。



生麦事件発生現場を説明する案内板。英國人たちが行列に割り込み刃傷が発生した現場。生麦事件碑は切られたりチャードソンが逃亡の末に絶命した場所に立つ。

生麦事件参考館は生麦事件に関する国内外の多数の資料を展示する私設資料館。館長の淺海武夫氏が解説してくれるでの事前の連絡が必要【電話】045-503-3710

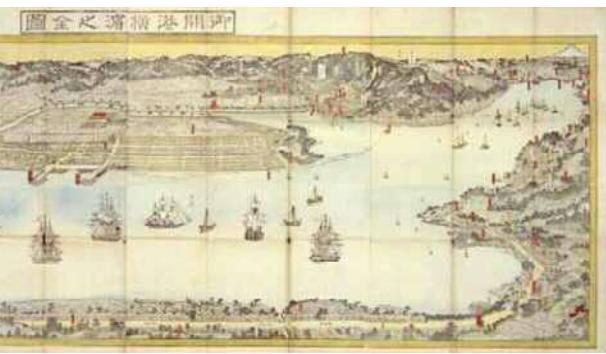


また途中の生麦村では、スーザンと呼ばれる看板娘がいる茶屋でひと息つくことも話題だったようですが、遭った英國人たちもそのような散策を楽しむ予定だったのだろう。しかし、薩摩の行列に遭遇した。

この生麦事件は外交問題に発展し、賠償をめぐって翌年、英國と薩摩との間に武力衝突が起る(薩英戦争)。鹿児島城下は英國艦隊の砲撃を受け、炎上。英國側も艦長などが砲弾で死亡し、さらに台風も来るなど的には薩摩以上の被害を受けた。しかし、薩摩は賠償金を支払う。その後、互いの実力を知った薩摩と英國は歩み寄り、英國から武器を購入するなど、明治維新に進む契機にもなった。

世界に開かれた港 貿易の拠点として整備され発展する横浜

神奈川宿に臨む のどかな漁村に つくられた港街



慶應元（1865）年、開港前後の横浜の街の区画を知ることが
できるクリエイティブな「横浜絵図面」。外国人の手による実測図（横
浜開港資料館蔵）



開港により急速に発展した横浜の中心部を通る本町通りには、生糸検査所や町会所、横浜郵便電信局などの建物が通りを飾った（神奈川県立歴史博物館蔵）

開港から数年後には 街並みが整った横浜

のどかな漁村だった横浜は開港に伴い大きく姿を変えしていく。

いまの元町側から海に向かって北西方向に長く延びた砂嘴が横浜村だ。江戸時代前期に開墾された吉田新田との間は深い入り江になつていて開港に先立ち、三河国出身の太田屋左兵衛によつて埋め立てられた。

幕府は横浜村の端に当たる横浜新田を拡充し、吉田新田との境を流れ派大岡川（現在の首都高速横羽線の位置）に開を設け、海側を外國人居住地と定めた。

これが「関内」の由来であり、現在石川町を流れる堀川も居留地（横浜新田）と山手の間に堀があったことから数えてしまつことであろう。急ピッチで街がつくられ、安政6（1859）年に横浜は開港、貿易が始まる。

NHKの番組「ブラタモリ」では、関内駅の地下にも入り、派大岡川の護岸を紹介していたが、いずれ駅の修復工事などで人目に触れるもなく消えてしまつことであろう。

やがて外国人たちも増え、居留地は手狭になつた。西の山手にも居留地がつくられ、主に西洋人たちが移り住むが、最初の居留地がダウントンで、山手がアップタウンといえるだろう。ダウンタウンには中華街が形成されていく。

幕府は江戸日本橋の三井呉服店をはじめとする商人を全国から集め、翌万延元（1860）年にはその数が200軒ほどになつたという。外国人も居留地に次々と店を開き、ホテルやビル工場なども建てられ、開港から数年後にはほぼ街並みが完成する。

やがて外国人たちも増え、居留地は手狭になつた。西の山手にも居留地がつくられ、主に西洋人たちが移り住むが、最初の居留地がダウントンで、山手がアップタウンといえるだろう。ダウンタウンには中華街が形成されていく。

明治5（1872）年、新橋と横浜を結ぶ日本最初の鉄道が開通し、横浜はさらに発展していくこととなる。



幕末から明治にかけて活躍した3代目歌川広重作「横浜鐵道館蒸氣車往返之図」。鉄道開通当時の横浜駅が描かれ、明治の躍動感や華やいだ雰囲気が伝わる（横浜開港資料館蔵）

貞秀作「御開港横浜之全図」では対岸の子安村辺りから米国や英國などの船が浮かぶ港越しに港を描いている（横浜開港資料館蔵）



開港間もない横浜のメインストリート、本町通りを描いた五雲亭貞秀作「神名川横浜新聞港図」（国立国会図書館蔵）。三井呉服店の紋も見える。両替商として横浜の金融を一手に握ったという。



従来の居留地（山下）が手狭になり新たにつくられた山手の居留地。欧米人を中心とした街になつたが、明治32（1899）年に居留地は廃止になる（神奈川県立歴史博物館蔵）

居留地のグラントホテルは明治6（1873）年に創業した。関東大震災で焼失し、その後ホテルニューグラントができるが、資本的なつながりはない（神奈川県立歴史博物館蔵）

この名残である。

NHKの番組「ブラタモリ」では、関内駅の地下にも入り、派大岡川の護岸を紹介していたが、いずれ駅の修復工事などで人目に触れるもなく消えてしまつことであろう。

急ピッチで街がつくられ、安政6（1859）年に横浜は開港、貿易が始まる。

幕府は江戸日本橋の三井呉服店

をはじめとする商人を全国から集め、

翌万延元（1860）年にはその数

が200軒ほどになつたとい。

外国人も居留地に次々と店を開き、

ホテルやビル工場なども建てられ、

開港から数年後にはほぼ街並みが完

成する。

やがて外国人たちも増え、居留地

は手狭になつた。西の山手にも居留

地がつくられ、主に西洋人たちが移

り住むが、最初の居留地がダウント

ンで、山手がアップタウンといえ

るだろう。ダウンタウンには中華街

が形成されていく。

明治5（1872）年、新橋と横浜を

結ぶ日本最初の鉄道が開通し、横

浜はさらに発展していくこととなる。



高島は、高島町にもその名を留める（横浜開港資料館蔵）

SPECIALTY



横浜クラシック家具

明治4（1871）年に、英国人のゴルマンが元町に歐風家具製造会社を設立した。開港した横浜には様々な文化が移入し、それに対応した職業や産業が興った。伝統と職人技を活かした、洗練されたデザインが特徴の家具は今日受け継がれ、横浜クラシック家具として「かながわの名産100選」にも選ばれている。

幕府は江戸日本橋の三井呉服店をはじめとする商人を全国から集め、翌万延元（1860）年にはその数が200軒ほどになつたとい。外国人も居留地に次々と店を開き、ホテルやビル工場なども建てられ、開港から数年後にはほぼ街並みが完成する。

やがて外国人たちも増え、居留地

は手狭になつた。西の山手にも居留

地がつくられ、主に西洋人たちが移

り住むが、最初の居留地がダウント

ンで、山手がアップタウンといえ

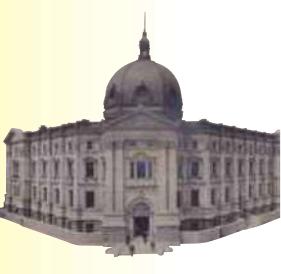
るだろう。ダウンタウンには中華街

が形成されていく。

明治5（1872）年、新橋と横浜を

結ぶ日本最初の鉄道が開通し、横

浜はさらに発展していくこととなる。



絹と茶を輸出し 綿や砂糖を輸入した日本



明治の養蚕の様子を写した古写真。横浜港からの輸出品で、生糸の占める割合は7割以上にもなった（横浜開港資料館蔵）



横浜正金銀行本店本館の写真。外為が未確立な当時、正金（現金）で貿易決済を行なうため設立された特殊銀行で、かつてあった東京銀行の前身（神奈川県立歴史博物館蔵）



生糸の品質チェックを行っていたのが、明治29（1896）年に発足した横浜生糸検査所。当初は中区本町にあったが、関東大震災で被災し、大正15（1926）年に北仲通りに再建された（横浜開港資料館蔵）



横浜スカーフ

横浜開港で生糸輸出が盛んになったことから生まれた伝統工芸品。シルク100%のスカーフにあしらわれた高密度な手捺染技術、丁寧な縫製が特徴。明治6（1873）年のワーン万国博覧会や明治13（1880）年のメルボルン万国博覧会への出展をきっかけに盛んになり、世界から高い評価を受けた。「かながわの名産100選」にも選定。



「英一番館」跡地に建つシルクセンター敷地内に生える桑の木は、県下の養蚕地であった津久井郡から開港当時に移植されたもの。

海外で高く評価された 日本の生糸とお茶

横浜には、海外から綿や砂糖などが輸入され、輸出するための品物が集まつた。開港以来、横浜の主要な輸出品は生糸であった。

英國貿易商ウイリアム・ケズウェイクは日本の生糸の品質の高さに目をつけ、他に先駆けて居留地にジャーディン・マセソン商会の横浜支店を開設した。地元住民たちは「英一番館」と呼び、現在、跡地のシルクセンターに記念碑が立っている。

当初、商人たちは何が売れるかわからなかつたと聞く。生糸取引は開港の年にオランダ商人が購入したのが最初というが、その後ジャーディン・マセソン商会のバーバーが芝屋と契約を結び、甲州屋忠右衛門や中居屋重兵衛が続くと伝わる。当時は、一発当てようと全国から商人が集まつたといふ。山師のように運び込まれ、朝早くから近隣の女性たちが汗だくになりながら日雇いの生糸取引は投機性が高く、多くの

金持ちが生まれたが、破産する者も生じた。その後、生糸検査所が設立され、次第に正常な生糸取引が行われるようになる。商人たちの質も規模も向上し、成功し巨万の富を得る者が出現する。そのような一人が、

本牧の三溪園をつくつた原富太郎（三溪）であった。

また、原料の生糸だけでなく、友禅などに用いられる手捺染という技法で美しい模様が施されたスカーフも丁寧な縫製と海外で高く評価され、輸出された。

お茶も江戸時代からすでに海外で人気を集めている商品だが、最盛期には国内需要を上回る量の茶が海を渡つたという。当初、茶の取り扱いが許されたのは、横浜、神戸、長崎の3港で、その主な輸出先は米国と英國であった。

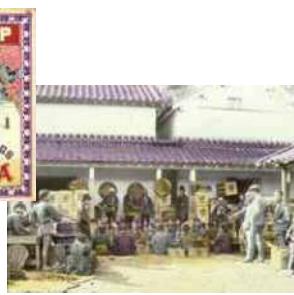
日本各地から横浜に集まつた茶葉は、山下町の居留地で外国人が経営する「お茶場」と呼ばれる再製工場で、その面がわが日本を意識した書籍（横浜開港資料館蔵）



原三溪が明治39（1906）年に開園した三溪園。17.5万m²の庭園内に京都や鎌倉などから貴重な建物（10棟が国重要文化財）が移築された。



原三溪は岐阜出身。横浜の豪商、家の養子になっ、技術の才覚で財をなす。三溪園に多くの日本建築を移築したほか芸術家のパトロンになつた（写真提供：三溪園保存会）



「茶の選別をする女性たち 明治期」の写真に残る、居留地に設けられた「お茶場」で製茶作業に従事する女性たちの姿（横浜開港資料館蔵）



S P O T



横浜マリンタワー

横浜開港100周年記念で、昭和36（1961）年に高さ106mの塔。当時は灯台も兼ねていた。展望フロアからは大パノラマが、特に夜景は必見。レストランやバーも併設【住所】横浜市中区山下町15【電話】045-664-1100【開館】10:00～22:30、不定休【料金】一般750円（展望フロア）http://marinetower.jp/



原三溪が一時経営した富岡製糸場。明治5（1872）年に本格的な機械製糸工場として操業。日本の生糸輸出を支えた（放送大学附属図書館蔵）

その他おすすめスポット&情報

アンテナショップかながわ屋

県産の食品や酒など約1500品を揃える。鎌倉彫などの工芸品を展示販売するコーナーも【住所】横浜市中区山下町1 シルクセンター1F【電話】045-662-4113【営業】10:00 ~ 18:00 月曜休み（祝日の場合は営業、翌日休み）<http://kanagaway.com/>



山手西洋館

明治から昭和初期に建てられた七つの洋館を横浜市が復元し、一般に無料公開している。各洋館では随時イベントが開催され、また、喫茶室が設けられたりグッズを販売したりするところもある。写真は大正15（1926年）に建てられた山手111番館。



横浜赤レンガ倉庫

明治後半に東洋初の岸壁式埠頭として新港埠頭の建設が行われ、保税倉庫として赤レンガ倉庫もつくれられた。現在、飲食店やショッピングなどがあり、周辺は赤レンガパークとして整備。レトロな港の風情が味わえる一角となっている。



日本郵船歴史博物館

近代日本海運の歴史を紹介する博物館。山下公園には、アルデコ洋式のインテリアが見られる貨客船冰川丸も【住所】横浜市中区海岸通3-9【電話】045-211-1923【開館】10:00 ~ 17:00 月曜休館【入館料】一般400円 <http://www.nyk.com/rekishi/>



横浜港大さん橋国際客船ターミナル

明治27（1894年）に完成して以来、日本の海の玄関として活躍。現在のターミナルは平成14（2002年）にリニューアルされたもので、個性的な意匠と斬新な構造が特徴。隣接する象の鼻パークにはアートスペースやカフェを備えたレストハウスがある。



横浜みなとみらい21

コンベンション機能を備えた国際交流拠点としてつくられた区域。帆船日本丸が係留する日本丸メモリアルパークは横浜港の歩みが学べる横浜みなとみらい博物館があり、最先端技術に触れる三遊みらい技術館など人気スポットが点在する。



昭和初期に描かれた神奈川の観光地を紹介する「神奈川県観光図鑑（一部）」では中華街は特記されていない。中華街がいまのよう繁盛する街となるのは戦後のこと（神奈川県立歴史博物館蔵）

日本で最大 世界でも 有数の中華街

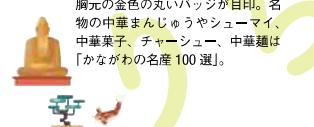


立ち寄り所



横浜中華街

600を超える店が軒を連ね、半数が中華料理など飲食店というグルメタウン。いくつかの店では横浜中華街コンシェルジュが活動し、街の歴史や文化、中国の食文化情報を発信。胸元の金色の丸いバッジが目印。名物の中華まんじゅうやシューマイ、中華菓子、チャーシュ、中華麵は「かながわの名産100選」。



外国人居留地の一角落に華僑が集いつくられた南京町。華僑は開港後の日本をサポートする役割を担った（神奈川県立歴史博物館蔵）

中華街と元町の間を流れる堀川は外国人居留地と分けるためにつくられた人工の川。当時は橋が三つ架かり居留地と結ばれた。慶応3（1867年）以降、元町背後の高台に山手居留地がつくられていく。

中華街大通りを写した明治末から大正初期の絵が gammie。横浜中華街は神戸の南京町や長崎新地の中華街とともに「三大中華街」と讃えられる。日本で最大かつ世界でも有数の規模を誇る（横浜開港資料館蔵）

橋渡し的役割を担う
日本人と西洋人の間で
エキゾチックな雰囲気と中華料理や中華菓子で人気を集める、横浜屈指の観光名所が中華街である。その規模は、日本はもちろん、世界でもトップクラスを誇る。
横浜開港に伴い横浜村に外国人居留地がつくられ、その一角である横浜新田に華僑が住み着いた。英語が話せ、漢字も使える華僑は、日本人と西洋人の橋渡し的に活躍したといふ。その後、湿気を嫌った西洋人たちが去った後も華僑は留まり、いつしか一大コミュニティを形成する。中華街の原型で、現在のように中華料理店などが軒を連ねるようになったのは戦後のこと。街区が周囲に対して斜めになっているのも新田が造成されたときの名残であり、風水を意識してつくられたという説が俗説である。

居留地誕生からほどなく建てられたのが『三国志』の英雄、関羽を祀る関帝廟だ。商売繁盛にご利益があるとされ、故国を離れて活躍する華僑の心のよりどころとなっている。



明治5（1872）年に新

橋と横浜を結ぶ日本初の鉄道が開業して以来、神奈川県と鉄道は深い関係にある。

安政6（1859）年に横

浜が開港し、生糸が重要な輸出品となると、横浜には長野や群馬など生産された生糸が集まつた。当初は陸路で運

ばれたが、鉄路による輸送も求められ、明治41（1908）年、横浜と八王子を結ぶ私鉄の横浜鉄道が開業した。

この横浜鉄道は大正時代に国有化され、現在のJR横浜線へと発展する。八王子は生糸の大集積地であり、また生糸の生産地を結ぶシルク・レールであった。

県南部を東西に抜ける東海道本線は明治20（1887）年に横浜駅と国府津駅間に開業。2年後の明治22（1889）年に新橋駅と神戸間が開通した。同年、東海道本線の大船駅と横須賀線も開業している。

た京浜工業地帯の中を通過するJR鶴見線もつくつている。戦前戦後と各工場で生産された物資を運び、日本の産業発展に貢献した。横浜駅と大船駅を結ぶJR根岸線も、根岸の工業地帯に物資を運ぶ目的で敷かれた路線であつた。一方、スイッチバックで有名な箱根登山鉄道や、大山ケーブルカー、日本一営業区間が長い箱根ロープウェイなど、県下には観光客を運ぶ目的で発達した私鉄や公共交通も多い。

湘南を代表する江ノ電こと江ノ島電鉄は、明治時代の半ばに増加した海水浴客を見込んで発足した鉄道である。当初は藤沢と江の島を結ぶ路線で、後に鎌倉まで延伸した。本来は茅ヶ崎まで計画していたが断念。藤沢市と鎌倉市の沿岸部の住人の重要な足であるとともに、一部、路面を走る区間があるなど観光路線としても人気である。

横須賀線は軍港・横須賀に

軍需物資を運ぶ使命を持つていた。久里浜駅への延伸は昭和19（1944）年だったが、

戦争も終盤となり、あらゆる

物資が不足する中に開通した

といふことからも軍事的にも重要であったことがつかがえる。

横須賀線をはじめ、県下には

座間や相模原、綾瀬など、旧

日本軍の基地が点在した。軍

事物資を生産していたのが川

崎や横浜の工業地帯で、その

間を抜けたのが、川崎駅と立

川駅を結び昭和4（1929）年に全線開業した現・JR南武線である。

当初は私鉄の南武鉄道で、

浅野セメント創業者の浅野總

…郎もかかわっていた。浅野

は青梅鉄道（現・JR青梅線）

も經營していて、奥多摩で採

掘された原料の石灰石を南武

鉄道によって効率よく運ぶこ

とかできた。

浅野はまた、自身がつくつ

横浜や横須賀、川崎などを結び 敷かれた鉄道網

Column

7

鉄道と交通

てつどうといふ



明治22（1889）年に開業した横須賀線は大正14（1925）年に電化し、昭和5（1930）年、東京駅と横須賀駅間で電車運転を開始。昭和19（1944）年に久里浜へ延伸したのは軍事上重要路線だったから。



箱根登山鉄道の早川橋梁（出山の鉄橋）は川床から43mという高さ。架設に苦労したが大正8（1919）年に箱根湯本と強羅間で運転を開始。廉価な乗車料もあり、箱根の観光地化を促進した。



全長約4kmの箱根ロープウェイは昭和34（1959）年に一部で開業し、翌年に全線開通した。通年営業しているロープウェイでは日本一長い。もっとも有料乗車数が多いとしてギネスにも認定。



江ノ電は明治35（1902）年に藤沢と片瀬（現・江の島）間で開業。日本で6番目の電気鉄道だったが、当初は人力車組合などの対抗運動もあったという。路面電車のように道路を走る区間もある。



湘南モノレールは昭和45（1970）年3月、大阪万博の開幕1週間前に、大船駅と西鎌倉駅間を結び運営した。翌年、湘南江の島駅まで延伸し全線開業。周辺住民の足として移動する。

横浜市内には地下鉄が通り、海側を新交通システムの横浜シーサイドラインが走る。そして近い将来リニアも抜ける。明治の汽笛…声以来、神奈川は様々な鉄道や交通システムを有する先進県であったといえ。

横浜はじめ物語 近代都市へと変貌する横浜発祥のいろいろ



設置当時の日本初の型をモデルとして復元された馬車道のガス灯。壁面レリーフに描かれているのは明治末期の馬車道。



明治から大正期の馬車道を描いた絵葉書。当時は「柳の通り」として知られていた。ドーム型建物は横浜正金銀行本店（神奈川県立歴史博物館蔵）

道路や公園など 急ピッチで進む 横浜の街づくり



山手公園にできた日本初のテニスクラブに長袴姿という装い（神奈川県立歴史博物館蔵）

開港とともに始まった 市街地のインフラ整備

開港に伴い近代化する横浜は、新橋との間に開通した鉄道をはじめ

「日本で初めて」が多い街である。
インフラ整備においては、まず近代上下水道が挙げられる。埋め立て

上を目的に柳と松が植えられた。
横浜公園は芝のクリケット場も備えた洋式公園だ。日本人も利用でき

た初の公用公園だが、最初の洋式公園は明治3（1870）年に山手居住地にできた外国人専用の山手公園。明治11（1878）年には日本初のテニスコートもつくられた。

ブランドンは明治2（1869）年に開通した吉田橋も設計している。全国で2番目の鉄の橋で、トラス構造では初めて。同年には、東京の築地と横浜間で日本初の電信が開通したが、それにも関わっている。

また、石油灯による街路照明も計画している。明治3（1870）年に試験的に海岸通りで点灯させ、本格的な街灯は明治5（1872）年、大江橋から馬車道、本町通りにかけて設置されたガス灯。高島嘉右衛門がフランス人技師から技術供与を得てつくったもので、高島が立ち上げたガス会社があつた跡地（横浜市立本町小学校界隈）からは



横浜公園にあるランタン像。慶応4（1868）年に26歳で来日した8年間の滞在中、26ヶ所の灯台、2艘の灯船などをつくる。ちなみに「ランタン」も日本最初のお雅い外国人。



横浜公園に向かって延びる日本通り。日本初の西洋式街路として明治3（1870）年に完成。現在はバス席を備えたお洒落なカフェが立ち並び、各種イベントとしても人気。



関東大震災の復興事業の一つとして、がれきなどで海を埋めてつくられた山下公園。昭和5（1930）年に完成した日本初の臨海公園。



横浜都市発展記念館入口に展示されている国内最古のガス管。高島嘉右衛門がつくった横浜瓦斯会社跡地にある小学校の校庭から出土したもの。



平成13（2001）年に日本大通りで発見された明治10年代に設営されたレンガづくりの下水管。一定の流速を保つために卵形となっている。

対応できず、英国人技師のヘンリー・スペンサー・パマーによって、相模川支流の道志川を水源に、約44キロの鋳鉄製水管が敷設された。明治20（1887）年のことで、これが日本初の近代水道となつた。

下水道は明治2（1869）年に、英國人技師のリチャード・ヘンリー・ブランドンによって居留地で工事が始まつた。最初は陶製の下水管で破裂しやすく、後にレンガ製に替わる。断面の形から卵形管と呼ばれ、現在も道路工事などでときどき発見されている。

ブランドンは船の運航安全を確保するため近代的な灯台が求められて雇われた外国人だ。「日本の灯台の父」と呼ばれ、同時に横浜の街づくりにも深く関わり、「横浜の街づくりの父」とも称されている。

ブランドンは大火（豚屋火事）に見舞われた居留地復興のため、日本大通りと横浜公園を設計している。

日本大通りは幅が36メートルの舗装道路で、延焼を防ぐ防火対策の道だつた。幅9メートルの植樹帯を有するが、最初に近代街路樹が植えら

れたのは馬車道通りで慶応3（1867）年のことである。街の美観向上を目的に柳と松が植えられた。横浜公園は芝のクリケット場も備えた洋式公園だ。日本人も利用できた初の公用公園だが、最初の洋式公園は明治3（1870）年に山手居住地にできた外国人専用の山手公園。明治11（1878）年には日本初のテニスコートもつくられた。

ブランドンは明治2（1869）年に開通した吉田橋も設計している。全国で2番目の鉄の橋で、トラス構造では初めて。同年には、東京の築地と横浜間で日本初の電信が開通したが、それにも関わっている。

また、石油灯による街路照明も計画している。明治3（1870）年に試験的に海岸通りで点灯させ、本格的な街灯は明治5（1872）年、大江橋から馬車道、本町通りにかけて設置されたガス灯。高島嘉右衛門がフランス人技師から技術供与を得てつくったもので、高島が立ち上げたガス会社があつた跡地（横浜市立本町小学校界隈）からは

日本人にも 広まる欧米の 生活スタイル

次第に影響を受ける
日本の食と文化

最初は西洋人の文化を敬遠していなかった日本人も、居留地で外国人が手がけていた事業を真似たり引き継いだりしながら少しずつ慣れ、次第に自分たちの生活にも取り入れていく。



日本のパンづくりの祖、内海兵吉がつくった富田屋があった日本大通5の、大さん橋入口交差点付近に設置された「近代のパン発祥の地」碑。



横浜駅前大江橋の脇にあった公衆便所。公衆便所の設置とともに「放尿取締の布告」が出され違反者は100文の罰金が課された（横浜開港資料館蔵）



万延元（1860年）にオランダ人が開いた日本初のホテル、ヨコハマ・ホーリー跡地。フランス人ソングがいたレス・トランがあり、洋酒・洋菓子販売の発祥の地ともいわれる。

日本人初の牛鍋屋は文久2（1862）年に開店した、現在の中区にあった伊勢熊屋という。居留地では万延元（1860）年に開業した、ヨコハマ・ホテルで食肉処理が行われている。慶応元（1865）年には、外國側の要求により、幕府が公設の処理場も設けている。

内海兵吉が仏軍のコックから教わりパンを焼き始めたのも開港の翌年。フランス人から仕込まれたため、ブレッドではなくパンとして広まつた。ちなみに地元の人から「ウチキパン」と呼ばれ愛されている元町の「ヨコハマベーカリー宇千喜商店」は、打木彦太郎が英國人口バー・クラークのパン店「ヨコハマ・ベーカリー」を引き継いで開業した老舗。日本で初めて食パンを販売した。文久2（1862）年には最初の



明治中頃の根岸競馬場。日本レースクラブが主催団体となると、伊藤博文や大隈重信など明治の重鎮たちも多数加入。当時のスタンドは、関東大震災後につくられ今まで残る一等スタンドより小さかった（横浜開港資料館蔵）

一港斎永林作「横濱名所之内
大日本横濱根岸萬國人競馬興行
ノ圖」。根岸競馬場を描いた唯一の錦絵。当時、流行の先端だった競馬場の雰囲気を伝える（神奈川県立歴史博物館蔵）



周辺にたくさんの茶肆のある神奈川県本庄市金沢和3（1928年）に建てられた4代目で、近代建築の巨匠、フランク・ロイド・ライト様式を基本にアルデコと日本式を融合させた建物。屋上からは横浜港が望める。

レストランができ、2年後にはカフェも開店。氷を輸入してアイスクリーム店も慶応元（1865）年に開業した。翌年には牛乳も販売されたが居留地の階級層のものであった。日本人では、明治2（1869）年に町田房藏が馬車道で「あいすくりん」を販売している。

明治2（1869）年には、山手居留地でビール醸造所もつくられた。国産初のビールで、山手のキリン公園には記念碑が立つ。隣接する北方小学校の校庭はかつて水をたたえた池だった。醸造のための水を汲んだ「ビール井戸」が残る。

山手の麓、いまの元町界隈で初めて競馬が行われた。外国人によって競馬が開かれたが、万延元（1860）年に開かれたが、慶応2（1866）年に、根岸に近代競馬場が完成。入场が許されたのは将校やクラブ会員などの特権階級だったという。明治4（1871）年、野球試合も日本で初めて行われた。外国人たちからの苦情で、同じ明治4（1871）年にいくつか設置された。



横浜情報文化センター

日本新聞博物館や放送ライブラリーを中心とした多目的ホールも備えた複合施設。元横浜商工奨励館で旧館は横浜市の歴史的建造物に認定。1階や2階にはカフェやレストランがあり、ノスタルジックな雰囲気の中でくつろげる【住所】横浜市中区日本大通11【電話】045-664-3737
<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/>

病院や新聞、理髪店 クリーニングも日本初

に、日本語で書かれた最初の日刊新聞は明治3(1870)年に発刊した「横浜毎日新聞」である。

病院は安政6(1859)年に開業した神奈川ホスピタルが最初。その後も公共的な総合病院が開業する。米国人のジェームス・カーティス・ヘボンも個人的な診療所を神奈川宿近くの寺で開業していた。宣教師であり医者でもあったヘボンは、宣教活動とともに日本初の和英辞典を編纂したり、塾を開校し青少年を教育したりした。女子教育にも力を入れ、フェリス女学院へと発展する。

ヘボンは気象観測も行い、文久元(1861)年に創刊した横浜初の本格新聞「ジャパン・ヘラルド」にその観測結果を載せていました。ちなみに

クリーニングは安政6(1859)年に青木屋忠七が「外国人衣類仕洗張」の許可を得て、外国人相手に衣類を洗濯したのが始まりという。石鹼は明治6(1873)年に堤磯右衛門がフランス人から製法を教わり製造を開始した。明治4(1871)年に断髪令が出るが、西洋式床屋は外国人相手に小倉右吉が明治2(1869)年に居留地で開いていたのが最初。山下公園に記念碑が立つ。

その他にも横浜発祥のものはたくさんある。中区を中心に各所にモニュメントや案内板があり、街歩きしながら探ししてみるのもいい。



「旧居留地消防隊地下貯水槽」の遺構
に立つ「消防救急発祥之地」の碑。
明治4(1871)年から同32(1899)年まで
居留地消防隊があった。日本初の
消防車や救急車が配置された。



「ZANGIRI」とタイトルされた「西洋
理髪発祥之地」を記す石像。当時、「散
切り頭を叩いてみれば文明開化の音が
する」と騒されたが、斬新な散切り頭
に負けず劣らずユニークな像。



立ち寄り所 元町ショッピングストリート

横浜発のトラッドファッショントリート。その歴史は開港の頃、居留地の外国人相手の店が集まつたことに始まる。洋服や帽子、西洋家具やパン、花などを売る店が並び、エキゾチックな商店街となつた。「ウチキバ」もこの一角。2月と9月に大きなセールが。<http://www.motomachi.or.jp/>



ヘボン夫妻が開いた塾では、妻のクララが英語を、ヘボンが医学を教えた。ヘボンは後に明治学院大学を創設し初代総理に就任する。聖書の日本語訳やヘボン式ローマ字の考案者としても知られる(横浜開港資料館蔵)

その他おすすめ スポット&情報

ミニコラム

**食の玄関口でもあつた横浜
あの定番洋食も横浜発祥**

西洋文化をいち早く取り入れた横浜には、食パンやアイスクリーム、ビールのほかにも様々な発祥グルメが存在する。たとえば、洋食の定番であるポリタンは、「ポティニューグランド」の総料理長が考案したもの。進駐軍の兵士たちがバスタケにケチャップをかけて食べる様子にビントを得て発案された。シーフードドリアも同ホテルが発祥。バターライスの上に小海老のクリーム煮がたっぷりかかる伝統の味はいまだお健在。日本初のオリジナルカクテル「パンプー」はかつて居留地にあった「グランドホテル」生まれ。いまも世界で親しまれている。

横浜発祥グルメのナポリタン。ホテルニューグランドの当時の総料理長、入江茂忠が「スパゲッティナポリタン」と命名した。
※写真はイメージ

散歴歩



川崎、横浜沿岸を埋め立ててつくられた工業団地

京浜工業地帯

けいひんこうぎょううちたい

煙突から噴出する炎や水蒸気が夜のシルエットに浮かび、稼働する工場の躍動感が伝わる。



浅野が大正9(1920)年に創立した浅野

総合学校は、勤労主義を導入し実用的な語学教育を行った。行動派だった浅野らしい教育方針。現在は中高一貫男子校として多数の入材を輩出。生徒たちを銅像が見守っている。



写真提供：浅野学園

川崎の京浜工業地帯。昼間の姿とは変わる夜の工場は幻想的な美しさを醸す。



キリンビル横浜工場では無料の工場見学ツアーを実施。ネットから申し込むのがいい(電話もOK)。ビルとおいしい食事がいただけるレストランも。<http://www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama/>



川崎市が平成20年にモニターツアーを実施してから全国的に人気が出た工場夜景見学。現在は船やバスから眺めるものなど各種ツアーが催行されている。



工業地帯を走るJR鶴見線は大正15(1926)年開業。浅野駅や安善駅(安田善次郎から)、扇町駅(浅野の家紋にちなんだ浅野ゆかりの駅名も)など浅野ゆかりの駅名も。



キリンビル横浜工場では無料の工場見学ツアーを実施。ネットから申し込むのがいい(電話もOK)。ビルとおいしい食事がいただけるレストランも。<http://www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama/>



川崎市が平成20年にモニターツアーを実施してから全国的に人気が出た工場夜景見学。現在は船やバスから眺めるものなど各種ツアーが催行されている。

道院によつて川崎・浜川崎間の貨物線が開通されたことにあわせ、浅野らが発起人となつた鶴見臨港鉄道が開通する。現在のJR鶴見線であり、各工場の専用線も取り込み拡充された。たとえば海老浦駅にいたる芝浦支線は東芝が敷設したが、これにより埋立地内のロジスティクスが確保され、現在でも旅客・貨物線として鉄路を軋ませている。

人材育成にも尽力した浅野は、大正9(1920)年に実学重視の浅野総合中学(現・浅野中学校・高等学校)を設立。いまも人材を輩出する神奈川区安田の学校敷地内に立つ浅野の銅像は京浜工業地帯を静かに見下ろしている。

浅野は薩長闇のようないじりの持たず、持ち前の行動力と発想力で、一代で財を築いた稀有な人物である。根底には社会に貢献するという強い使命感があった。本業であるセメント業も社会の発展に貢献するとい

う。現在、京浜工業地帯の工場夜景クルーズ(川崎や横浜などから出航)が人気。また、JR鶴見線の乗車やキリンビル横浜工場見学などでもその臨場感を味わうことができる。お酒がたしなめる人はビール工場でできたりてもいただきながら、浅野總一郎に思いを馳せてみるもの興だ。

「よー、これなりじける!」

明治も終わりの頃、近代産業のバイオニア、浅野總一郎

は自ら鶴見川沖の海中に潜り、その地質を調べ、一体の沿岸が埋立地の造成や工場の立地に適すると確信した。

「九軒十起」の男ともいわれ

る浅野は嘉永元(1848)

年、富山の水見(医者の長男)

として生まれた。幼少期より

大商人になる大志をいたさ

15歳で起業するも失敗の連続。

一念発起して24歳で上京、砂

糖水売りや炭販売などで稼

ぎ、当時の先端産業であった石炭業に乗り出す。

そこで浅野は石炭の残骸、コーケスを横浜市より貢取り、再燃料化に成功、巨利を得る。生涯の恩人である渋沢栄一の支援を受け、深川セメント工場の経営や磐城炭鉱の開発、海運業にも乗り出す。

一大実業家へと成長した明治29(1896)年、もう一人の恩人である同郷の実業家・

安田善次郎の支援を受け、東洋汽船を設立、外国航路へも進出した。欧米視察に出かけた浅野は、大型船が発着でき、大量輸送ができる港湾設備と付随する工場用地の必要性を痛感する。150万坪の埋め立て認可を受け、大正2(1913)年に鶴見埋立組合を結成、埋め立て事業に着手した。この「浅野埋立」は京浜臨海工業地帯建設への地ならしの第1歩となり、15年の歳月を経て昭和3(1928)年に工業地帯は完工する。その間、浅野セメントや浅野製鐵日本鋼管・旭硝子・日清製粉・日產自動車などの工場が進出し、日本の近代産業発展に大きく寄与する。浅野が「日本臨海工業地帯開発の父」と称される所以である。

一方、埋立地内での物資輸送のための鉄道網も工場の進出とともに整備した。

大正7(1918)年に鉄

展、インフラ整備のために必要なもの。工業地帯をつくるというのも、苦労の割に利益ではなく、本来なら国の仕事であるが、浅野は社会のためにと白旗を振り行動した。工業地帯に必要な鉄道や電気も目前で用意してしまうというバイタリティ。公衆トイレをつくり、汲み取り事業を行い、コーケスの廃物利用もするという発想と行動力は並大抵のものではない。さらに学校をつくり人材育成にも力を注いだという浅野は、まさに明治日本が生んだ偉大な篤志家であろう。

現在、京浜工業地帯の工場夜景クルーズ(川崎や横浜などから出航)が人気。また、JR鶴見線の乗車やキリンビル横浜工場見学などでもその臨場感を味わうことができる。お酒がたしなめる人はビール工場でできたりてもいただきながら、浅野總一郎に思いを馳せてみるもの興だ。

観音ミュージアム	鎌倉市長谷 3-11-2	0467-22-6100	9:00 ~ 16:00	http://www.kannon-museum.jp/
鎌倉宮宝物殿	鎌倉市二階堂 154	0467-22-0318	9:30 ~ 16:30	http://www.kamakuraguu.jp/haikan.html
鶴岡八幡宮宝物殿	鎌倉市雪ノ下 2-1-31	0467-22-0315	8:30 ~ 16:00	http://www.hachimangu.or.jp/
鎌倉文学館	鎌倉市長谷 1-5-3	0467-23-3911	9:00 ~ 17:00 (季節による変動あり)	http://www.kamakurabungaku.com/
藤沢市郷土資料館	藤沢市江の島 2-3	0466-23-2444	9:00 ~ 20:00	hp なし
藤沢市文書館	藤沢市朝日町 12-6	0466-24-0171	8:30 ~ 17:00	http://digital.city.fujisawa.kanagawa.jp/
藤沢市ふじさわ宿交流館	藤沢市西富 1-3-3	0466-55-2255	9:00 ~ 18:00 (季節による変動あり)	http://www.fujisawa-kanko.jp/fujisawashukukouryukan/
藤沢市藤澤浮世絵館	藤沢市辻堂神社 2-2-2 ココカラ湘南7F	0466-33-0111	10:00 ~ 19:00	http://fujisawa-ukiyoekan.net/
遊行寺宝物館	藤沢市西富 1-8-1	0466-22-2063	10:00 ~ 16:30	http://yugyoji-museum.world.coocan.jp/
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市人生田 499	0465-21-1515	9:00 ~ 16:30	http://nh.kanagawa-museum.jp/
小田原市郷土文化館	小田原市城内 7-8	0465-23-1377	9:00 ~ 17:00	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/public-if/facilities/kyodo/
小田原市尊徳記念館・二宮尊徳生家	小田原市柏山 2065-1	0465-36-2381	9:00 ~ 21:30 (展示室は17:00まで)	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/public-if/facilities/sontoku/
小田原城天守閣	小田原市城内 6-1	0465-23-1373	9:00 ~ 17:00	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/odawaracastle/teennisukaku/
報徳博物館	小田原市南町 1-5-72	0465-23-1151	9:00 ~ 17:00	http://www.hotoku.or.jp/
小田原城歴史見聞館	小田原市城内 3-71	0465-23-1373	9:00 ~ 17:00	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/odawaracastle/castelpark/historicalmuseum/
常盤木門 SAMURAI館	小田原市小田原城址公園内	0465-23-1373	9:00 ~ 17:00	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/odawaracastle/event/samurai.html
茅ヶ崎市文化資料館	茅ヶ崎市中海岸 2-2-18	0467-85-1733	9:00 ~ 16:00	http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka_rekishi/bunkashiryokan/
池子遺跡群資料館	逗子市池子池子住宅地区 および海浜補助施設内	046-871-7006	9:00 ~ 16:00	http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/syakyou/neibunkazai/keigo-muse/
秦野市立桜土手古墳展示館	秦野市堀山下 380-3	0463-87-5542	9:00 ~ 17:00	http://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/100100004542/index.html
厚木市郷土資料館	厚木市寿町 3-15-26	046-225-2515	9:00 ~ 17:00	http://www.city.shiryoukan.p005409.htm
つる舞の里歴史資料館	大和市つきみ野 7-3-2	046-278-3633	9:00 ~ 17:00	http://www.city.yamato.lg.jp/web/shakai/turumai.html
下鶴間ふるさと館	大和市下鶴間 2359-5	046-272-6556	10:00 ~ 16:00	http://www.city.yamato.lg.jp/web/shakai/furusatokan.html
三ノ宮郷土博物館	伊勢原市三ノ宮 1472	0463-95-3237	9:00 ~ 16:00	http://hibita.jp/museum/
海老名市立郷土資料館 「海老名市温泉故郷」	海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028	9:00 ~ 17:15	http://www.city.ebina.kanagawa.jp/www/contents/1309134389326/
海老名市立歴史資料収蔵館	海老名市河原口 2-27-3	046-232-3611	9:00 ~ 17:15	http://www.city.ebina.kanagawa.jp/www/contents/1271832429156/
南足柄市郷土資料館	南足柄市広町 1544	0465-73-4570	9:00 ~ 16:30	http://www.city.mimamishigara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/kyoudo/
神崎遺跡資料館	綾瀬市吉岡 3425-5	0467-77-0841	9:00 ~ 17:00	https://www.city.eyese.kanagawa.jp/hp/page000029200/hpg000029152.htm
寒川町文化財学習センター	高座郡寒川町一宮 7-3-1	0467-75-1930	9:00 ~ 16:00	http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/chosei/bunkazai/center/index.html
大磯町郷土資料館	中郡大磯町西小磯 446-1	0463-61-4700	9:00 ~ 17:00	http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/kyodoshiryokan/
中井町郷土資料館	足柄上郡中井町北窪庭 107	0465-81-3906	9:00 ~ 16:30	http://www.town.nakai.kanagawa.jp/forms/info/info.aspx?Info_id=4129
おもしろ体験博物館江戸民具街道	足柄上郡中井町久所 418	0465-81-5339	9:00 ~ 17:00	http://edomingu.com/
大井町郷土資料館	足柄上郡大井町柳 248	0465-85-5013	8:30 ~ 17:00	http://www.town.oi.kanagawa.jp/kanko/spot/kyodo.html
丹沢湖記念館・三保の家	足柄上郡山北町神尾田 759	0465-78-3415	8:30 ~ 17:30 (季節による変動あり)	http://www.tanzawako-k.sakura.ne.jp/
箱根町立郷土資料館	足柄下郡箱根町湯本 266	0460-85-7601	9:00 ~ 16:30	https://www.town.hakone.kanagawa.jp/
箱根関所資料館	足柄下郡箱根町箱根 1	0460-83-6635	9:00 ~ 17:00	http://www.hakonekesisyo.jp/
畠宿寄木会館	足柄下郡箱根町畠宿 103	0460-85-8170	9:00 ~ 16:30	http://www.hakoneyumoto.com/
本間寄木美術館	足柄下郡箱根町湯本 84	0460-85-5646	9:00 ~ 17:00	http://www.yoseki-honma.com/
関所からくり美術館	足柄下郡箱根町箱根 16	0460-83-6604	9:00 ~ 17:00	http://www.karakuri.gr.jp/creation/museum/top.html
湯河原郷土資料館	湯河原町宮上 566	0465-64-1234	9:00 ~ 17:00 (湯河原温泉観光協会)	http://www.yugewara.or.jp/sightseeing/details.php?log=1365467533
愛川町郷土資料館	愛甲郡愛川町半原 5287	046-280-1050	9:00 ~ 17:00	http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/shisetsu/bunka/142771495906.html
清川村宮ヶ瀬湖水の郷交流館	愛甲郡清川村宮ヶ瀬 951-3	046-288-3100	9:00 ~ 16:30	https://www.miyanose.or.jp/spot/facilities/mizunosoato.html

神奈川の歴史や文化を知る博物館 郷土資料館などの施設一覧

神奈川県には郷土について知ったり学んだりする施設がいくつもある。ここでは特に、歴史や文化的なものを展示する博物館や郷土資料館を紹介する。
(データは平成29年10月現在)

名 称	住 所	電 話 番 号	開 館 時 間	H P
横浜市歴史博物館	横浜市都筑区中川中央 1-18-1	045-912-7777	9:00 ~ 17:00	https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/
神奈川県埋蔵文化財センター	横浜市南区中村町 3-191-1	045-252-8661	9:00 ~ 17:00	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f16656/
熊野郷土博物館	横浜市港北区節岡町 1137	045-531-0150	9:00 ~ 16:00	http://www.kumanojinjira.or.jp/
横浜市長浜ホール (長浜野口記念公園内)	横浜市金沢区長浜 114-4	045-782-7371	9:00 ~ 22:00	http://www.nagahama-hall.com/
神奈川県立金沢文庫	横浜市金沢区金沢町 142	045-701-9069	9:00 ~ 16:30	https://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm
神奈川県立公文書館	横浜市旭区中尾 1-6-1	045-364-4456	9:00 ~ 17:00	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926	9:30 ~ 17:00 (2018年4月下旬まで改修工事のため全館休館)	http://ch.kanagawa-museum.jp/
三溪記念館（三溪園内）	横浜市中区本牧三之谷 58-1	045-621-0634	9:00 ~ 17:00	http://sankeien.or.jp/
シルク博物館	横浜市中区山下町 1	045-641-0841	9:30 ~ 17:00	http://www.silkcenter-kbbk.jp/museum/
横浜山手・テニス発祥記念館	横浜市中区山手町 230	045-681-8646	10:00 ~ 17:00	http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/park/yamate/
日本郵船氷川丸	横浜市中区山下町山下公園地先	045-641-4362	10:00 ~ 17:00	http://www.nyk.com/rekiishi/
日本郵船歴史博物館	横浜市中区海岸通 3-9	045-211-1923	10:00 ~ 17:00	http://www.nyk.com/rekiishi/
帆船日本丸・横浜みなと博物館 (日本丸メモリアルパーク)	横浜市西区みなとみらい 2-1-1	045-221-0280	10:00 ~ 17:00	http://www.nippon-maru.or.jp/
横浜開港資料館	横浜市中区日本大通 3	045-201-2100	9:30 ~ 17:00	http://www kaikou city yokohama jp/
横浜外国人墓地（資料館）	横浜市中区山手町 96	045-622-1311	10:00 ~ 17:00	http://www.yfgc-japan.com/
横浜市開港記念会館	横浜市中区本町 1-6	045-201-0708	10:00 ~ 16:00	http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/
横浜市三殿台考古館	横浜市磯子区岡村 4-11-22	045-761-4571	9:00 ~ 17:00 (季節による変動あり)	https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/shisetsu/sandd/
横浜市八聖殿郷土資料館	横浜市中区本牧元町 76-1	045-622-2624	9:30 ~ 16:00	https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/shisetsu/hasei/
柿生郷土史料館	川崎市麻生区上麻生 6-40-1 (川崎市立柿生中学校 1F)	044-988-0004	10:00 ~ 15:00	http://web-asao.jp/hp2/k-kyoudo/
川崎市立日本民家園	川崎市多摩区折形 7-1-1	044-922-2181	9:30 ~ 17:00 (季節による変動あり)	http://www.ihonninkenai.jp/
川崎市立市民ミュージアム	川崎市中原区等々力 1-2	044-754-4500	9:30 ~ 17:00	https://www.kawasaki-museum.jp/
川崎市大山街道ふるさと館	川崎市高津区溝口 3-13-3	044-813-4705	9:30 ~ 21:30	http://furusatokan.web5.jp/
東海道かわさき宿交流館	川崎市川崎区本町 1-8-4	044-280-7321	9:00 ~ 17:00	http://kawasakihikaku.jp/
二ヶ領せせらぎ館	川崎市多摩区宿河原 1-5-1	044-900-8386	10:00 ~ 16:00	http://www.seseragikan.com/
若宮八幡宮郷土資料室 (金山神社資料室)	川崎市川崎区大師駅前 2-13-16	044-222-3206	9:00 ~ 16:30	http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000000155.html
相模原市立博物館	相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030	9:30 ~ 17:00	http://sagamiharacitymuseum.jp/
史跡田名向原遺跡旧石器時代 学習館(旧石器ハテナ館)	相模原市中央区田名塩 2-3-11	042-777-6371	9:00 ~ 18:00 (季節による変動あり)	http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisetsu/bunka_shakaibibliary_etc/013288.html
ペリーカ記念館	横須賀市久里浜 7-15-1	046-834-7531	9:00 ~ 16:30	http://kurihama.info/kankou/perrypark/
ヴェルニー記念館	横須賀市東逸見町 1-1	046-824-1800	9:00 ~ 17:00	http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8161/sisetu/fc0000570.html
浦賀コミュニティセンター分館 (浦賀貿易センター)	横須賀市浦賀 7-2-1	046-842-4121	8:30 ~ 21:00 (展示室は17:00まで)	http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2490/sisetu/fc0000087.html
横須賀市自然・人文博物館	横須賀市深田台 95	046-824-3688	9:00 ~ 17:00	http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/
平塚市博物館	平塚市浅間町 12-41	0463-33-5111	9:00 ~ 17:00	http://www.hirahaku.jp/
鎌倉歴史文化交流館	鎌倉市扇ガ谷 1-5-1	0467-73-8501	10:00 ~ 16:00	https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html
鎌倉国宝館	鎌倉市雪ノ下 2-1-1	0467-22-0753	9:00 ~ 16:30	https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kokuhoukan/
鎌倉彌会館資料館	鎌倉市小町 2-15-13 (鎌倉彌会館 3F)	0467-25-1500	9:30 ~ 17:00	http://kamakuraborikiikan.jp/
鎌倉彌工芸館	鎌倉市由比ガ浜 3-4-7	0467-23-0154	工事のため休館中	https://www.kamakurabori-kougeikan.jp/
吉屋信子記念館	鎌倉市長谷 1-3-6	0467-25-2030	10:00 ~ 16:00	https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gakusyu/yoshiya-koukai.html

*施設によっては臨時休館があるので事前に確認することをおすすめします。

かながわ歴旅

神奈川を知る

15の歴史物語

2017年11月発行

[編集委員]

松谷千空 観光
メディア文化学部教授
(かながわ観光大学
推進協議会会長)

古賀 実

神奈川 SGG クラブ

会長

蓬萊 弘司

かながわボランティア
ガイド協議会
会長

湯山尊明

公益社団法人
神奈川県観光協会
主査

相原 榮

神奈川県立歴史博物館
主任学芸員

丹治 雄一

神奈川歴史研究会
会長

竹村 紘一

株式会社エディスター
代表取締役
犬塚 浩志

[編集]

犬塚 浩志

秋藤 幸司

山田 麻由子

エディキューブ

[デザイン]

青木 貴子

[執筆]

遠藤 明子

込山 芳樹

安原 仁

氏崎 幸彦

宮本 司 (Star FACTORY)

請川俊之 (Star FACTORY)

松井 さおり

川手 優子

エディキューブ

[撮影]

八藤 まなみ

遠藤 昌章

遠藤 明子

片岡 博

[CG制作]

成瀬京司

[地図制作]

ジェイ・マップ

[発行]

神奈川県観光企画課

〒231-8588

神奈川県横浜市中区日本大通1

電話: 045-210-5767

かながわボランティアガイド協議会

加入団体 & SGG団体

かながわボランティア ガイド協議会

葉山町文化財研究会
TEL : 090-1430-8658

特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会

〒 210-0802
川崎市中原区大師駅前 2-13-16
若宮八幡宮内
TEL : 044-221-9117
kawasaki-gaido@bz04.plala.or.jp
URL : http://kawasaki-gaido.net/

鶴見みどころ ガイドの会

URL : http://sky.geocities.jp/
tsurumim/

特定非営利活動法人 神奈川区いまむかし ガイドの会

〒 221-0802
横浜市神奈川区六角橋 1-10-11
すべーすろっかく内
TEL : 045-401-8320
irai@imamukashi.kilo.jp
URL : http://imamukashi.kilo.jp/

ほどがやガイド ボランティアの会

〒 240-0045
横浜市保土ヶ谷区川島町 581-6
TEL : 045-371-0084
URL : https://hodogaya-gaido.
sakura.ne.jp/

特定非営利活動法人 大磯ガイド協会

〒 255-0003
中部大磯町大磯 995-12-8
TEL : 0463-73-8590
URL : https://www.oisoguide.com/
TEL : 0466-24-4141

いせはら観光 ボランティアガイド& ウォーカー協会

URL : http://kanbara.sakura.ne.jp/
特定非営利活動法人
大磯ガイド協会
〒 257-0045
秦野市桜町 1-4-1
(一社) 秦野市観光協会内
TEL : 0463-82-8833
URL : http://www.kankou-hadano.org/hadano_volunteer/volunteer_arukuu.html

特
定
非
営
利
活
動
法
人
小
田
原
原
ガ
イ
ド
協
会

〒 250-0014
小田原市城内 3-22
TEL : 0465-22-8800
URL : https://www.odawara-gaido.com/

湯河原観光ボランティア
〒 259-0392
足柄下郡湯河原町中央 2-2-1

湯河原町役場地域政策課内
TEL : 0465-63-2111 (代表)

特定非営利活動法人 横濱金澤 シティガイド協会

〒 236-0027
横浜市金沢区瀬戸 19-31-205
TEL : 045-787-0469
URL : http://yokokanaguide.org/

みうら観光 ボランティアガイド協会

〒 238-0101
三浦市南下浦町上宮田 1450-4
(一社) 三浦市観光協会
インフォメーションセンター内
TEL : 046-988-0588

*本文に記載した歴史的事項については諸説あります。
*掲載されている記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。
©神奈川県産業労働局観光部観光企画課

あつぎ観光
ボランティアガイド協会
atugikanvola@yahoo.co.jp
URL : http://atugikanvola.sakura.ne.jp/

特定非営利活動法人
海老名ガイド協会
URL : http://ebinaguide.sakura.ne.jp/

特定非営利活動法人
神奈川歴遊クラブ
hodani@q9.so-net.ne.jp
URL : https://rekiyu.jimdo.com/

特定非営利活動法人
神奈川東海道
「ウォークガイド」&
「ウォーク協会」
URL : https://www.tokaido-wg.com/

秦野市観光
ボランティアの会
〒 257-0045
秦野市桜町 1-4-1
(一社) 秦野市観光協会内
TEL : 0463-82-8833
URL : http://www.kankou-hadano.org/hadano_volunteer/volunteer_arukuu.html

綾瀬市史跡ガイド
ボランティアの会
URL : https://www.city.ayase.kanagawa.jp/hp/page000023400/hpg000023360.htm

SGG
小田原・箱根
SGGクラブ
nobrunr42@gmail.com
URL : http://www.ohsgg.com/japanese.html

神奈川SGGクラブ
〒 231-0023
横浜市中区山下町 60-1-404
TEL : 045-212-2108
ksgg_desk@volunteerguide-ksgg.jp
URL : http://volunteerguide-ksgg.jp/